

(案)

平成26年度

寒川町総合計画後期基本計画

施策進行管理・評価シート

(平成25年度実施事業分)

【施策とその評価の一覧 及び 目次】

シートの見方						頁
						1
第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり						
第1節 連携を考えた交通環境の整備を進めます						
	施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1	道路網の整備	都市建設部長	道路課長	9	A	2・3
2	公共交通網の整備	都市建設部長	都市計画課長	3	A	4・5
第2節 快適な生活環境の整備を進めます						
	施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1	公園・緑地等の整備	都市建設部長	都市計画課長	1	A	6
2	下水道・河川の整備	都市建設部長	下水道課長	9	A	7・8
3	環境美化の推進	環境経済部長	環境課長	6	A	9
4	住環境の向上	都市建設部長	都市計画課長	3	C	10・11
第3節 魅力ある市街地の整備を進めます						
	施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1	土地利用の適正化	都市建設部長	都市計画課長	2	C	12
2	市街地整備の推進	拠点づくり部長	倉見拠点づくり課長	4	A	13・14
第2章 環境と共生したうるおいのあるまちづくり						
第1節 水とみどりの保全と活用を進めます						
	施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1	緑化の推進	都市建設部長	都市計画課長	6	B	15・16
第2節 環境にやさしいまちづくりを進めます						
	施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1	環境共生の推進	環境経済部長	環境課長	5	A	17・18
2	公害の防止	環境経済部長	環境課長	2	A	19
3	資源の有効活用の推進	環境経済部長	環境課長	3	C	20・21
4	廃棄物の適正処理	環境経済部長	環境課長	7	A	22・23
第3章 安心でいきがいのあるまちづくり						
第1節 明るく生きがいのある健康づくりを進めます						
	施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1	健康づくりの充実	健康子ども部長	健康・スポーツ課長	10	A	24・25
2	医療体制・保健衛生の充実	健康子ども部長	健康・スポーツ課長	7	A	26・27
第2節 心のかよいあう福祉を充実します						
	施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1	地域福祉の充実	福祉部長	福祉課長	8	A	28・29
2	高齢者福祉の充実	福祉部長	高齢介護課長	23	A	30・31
3	子育て支援の充実	健康子ども部長	子ども青少年課長	15	A	32・33
4	障がい福祉の充実	福祉部長	福祉課長	24	A	34・35
5	社会保障制度の推進	福祉部長	保険年金課長	12	A	36・37
第3節 安心して暮らせるまちづくりを充実します						
	施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1	防災対策の充実	企画政策部長	危機管理課長	8	C	38・39
2	消防・救急体制の充実	消防長	消防総務課長	15	A	40・41
3	交通安全・防犯対策の充実	町民部長	協働文化推進課長	9	A	42・43
4	地域活動の推進	町民部長	協働文化推進課長	7	A	44・45
5	町民相談の推進	町民部長	町民窓口課長	3	A	46
6	共に支え合う地域社会の実現	町民部長	協働文化推進課長	4	A	47・48

第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

第1節 ふれあいのある生涯学習を充実します

施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1 生涯学習の推進	町民部長	協働文化推進課長	7	A	49・50
2 スポーツ・レクリエーション活動の推進	健康子ども部長	健康・スポーツ課長	5	A	51・52

第2節 豊かな心をはぐくむ教育を進めます

施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1 幼児教育の推進・家庭教育の支援	教育次長	教育総務課長	2	A	53
2 学校教育の推進	教育次長	学校教育課長	25	A	54・55
3 青少年の育成	健康子ども部長	子ども青少年課長	5	C	56

第3節 地域の文化活動を進めます

施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1 地域文化の振興	教育次長	教育総務課長	10	A	57・58
2 地域間交流の推進	町民部長	協働文化推進課長	1	A	59

第5章 魅力ある産業と活力のあるまちづくり

第1節 まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります

施策名(項)	主の施策責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1 商業の振興	環境経済部長	産業振興課長	8	A	60・61
2 工業の振興	環境経済部長	産業振興課長	9	C	62・63
3 農業の振興	環境経済部長	産業振興課長	9	A	64・65
4 勤労者対策の充実	環境経済部長	産業振興課長	5	C	66・67
5 観光の振興	環境経済部長	産業振興課長	3	A	68

後期基本計画の効率的・効果的な推進のための3つの基本姿勢

名称	主の責任者	シート作成者	事業数	評価区分	頁
1 町民との協働によるまちづくりの推進	町民部長	協働文化推進課長	7	A	69・70
2 広域行政によるまちづくり	企画政策部長	企画政策課長	1	A	71・72
3 地方分権の推進と自律的な行財政運営	企画政策部長	企画政策課長	7	A	73・74

《評価区分とその基準》

- A：施策は推進され、成果はあがっている
- B：施策は推進されていないが、成果はあがっている
(予想以上の成果が出ている
目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている 等)
- C：施策は推進されているが、成果はまだあがっていない
- D：施策は推進されておらず、成果もあがっていない

《シートの見方》

「章－節－項」の番号

【施策責任者】
◎が主の施策責任者

【アンケート調査結果】
「%」の表記がない数字の
単位は「人」

「H22実績値」は後期基本計画
を策定した際の基礎情報であり、
それを踏まえて、最右欄の
「H26目標値」を設定したところ
ですが、現時点で評価を行うに
あたってはH26の実績値を求め
ることができないため、参考とし
て「H25実績値」と「H26予測値」
を記載しています。

平成26年度 町総合計画後期基本計画 施策進行管理・評価シート（平成25年度実施事業分）

施策名 1 - 2 - 4 住環境の向上

1. 基礎情報	施策責任者(部等の長)	◎都市建設部長 ○企画政策部長
	施策関係課等名	財政課/都市計画課
	シート作成者(主担当である課等の長)	都市計画課長
	作成補助者(関係課等の長)	財政課長
	作成年月日	

後期基本計画 登載状況 (章) 快適でにぎわいのあるまちづくり (節) 快適な生活環境の整備を進めます

2. 施策内容	めざす姿	●景観に配慮した良好な住環境が形成されている。 ●情報通信環境が整備・活用されている。
	基本方針	●新たなまちなみ景観の創造と自然環境の保全ならびに良好な居住環境の形成を図ります。 ●町内の情報通信環境を活用したまちづくりを進めます。
	施策の方向	●住環境の整備促進 ●住居表示の推進 ●情報通信基盤の活用

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況	施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算見込額(円)
			妥当性	効率性	有効性	
	住環境の整備促進	景観まちづくり検討事業	A	A	F	0
	住居表示の推進	住居表示整備事業	A	A	A	10,605
	情報通信基盤の活用	ICT活用事業	A	A	A	41,108,085

4. 町民アンケート調査 (H26年4月実施)による現状評価	施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
		十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
	良好な住環境の整備	36 (28) 7.7% (5.7%)	140 (134) 30.0% (27.3%)	125 (122) 26.8% (24.9%)	67 (89) 14.4% (18.2%)	70 (97) 15.0% (19.8%)	28 (20) 6.0% (4.1%)	466 (490) 100% (100%)
	情報通信基盤の活用	27 (35) 5.8% (7.1%)	101 (78) 21.7% (15.9%)	84 (97) 18.0% (19.8%)	65 (70) 14.0% (14.3%)	159 (192) 34.1% (39.2%)	30 (18) 6.4% (3.7%)	466 (490) 100% (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績	指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
	高度地区指定面積	ha	—	632	632	632
	住居表示実施面積	ha	462.1	462.1	462.1	481.7
	情報通信を利用したコンテンツ数	件	1	6	10	3

6. 施策の成果と今後の課題	評価	□ A: 施策は推進され、成果が顕著である。 □ B: 施策は推進されているが、成果が顕著でない。 ■ C: 施策は推進されているが、成果が顕著でない。 □ D: 施策は推進されていない。
現状・課題	《上記評価に至る分析や課題》 住居表示の実施について、引き続き、予定している事業を推進する。	
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合》 また、社会経済環境等の変化に応じて、住居表示については区画整理等があった場合は合わせ	

【それぞれの評価区分とその基準】※各事業の評価(進行状況)からの転記。

○妥当性・・・町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。またそもそも事業を実施する必要があるのか。

《評価のポイント》 * 町が実施すべき事業か * 町が実施しない場合の影響は * 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は * 現在の町に必要な事業なのか(社会環境の変化などを勘案して)

《評価の区分》 A: 町が行わなければならない
C: 町が行った方がよい
D: 町が行うべき必然性が低いため、改善が必要である
E: 町が行うべき事業ではないため、改善が必要である

○効率性・・・事業費、人件費に無駄はないか。

《評価のポイント》 * 事業は効率的におこなわれているか * コストの節減 * 実施手法の改善 * 受益者負担

《評価の区分》 A: 適切である
D: 改善の余地がある
E: 効率的ではないため、改善する必要である

○有効性・・・事業の達成度はどうか

妥当性・効率性・有効性の3種類で事務事業評価を行っていますが、共通の判断としては、「D」以下のアルファベット区分が付いているものは、今後、改善を検討する必要があります。

《評価の区分》	指標の達成状況	事業目標指標の達成状況	分析内容
A	指標の80%以上を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
B	指標の80%以上を達成している	指標を未達成	・手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
C	指標の80%を達成していない	指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
D	指標の80%を達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
E	指標の80%を達成していない	指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
F			その他特別な事情があるもの。
Z			未着手

施策名	1 - 1 - 1	道路網の整備
-----	-----------	--------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	都市建設部長
施策関係課等名	道路課/都市計画課
シート作成者(主担当である課等の長)	道路課長
作成補助者(関係課等の長)	都市計画課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 快適でにぎわいのあるまちづくり (節) 連携を考えた交通環境の整備を進めます
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内外の移動がスムーズに行われている。 ● 車と歩行者の双方の安全が図られている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺自治体との交流、連携を支える広域道路網の整備を促進します。 ● 都市間の連携や産業の発展などが期待されるさがみ縦貫道路の整備を促進します。 ● すべての人に安心・安全な道路整備を進めます。 ● 老朽化した道路や橋りょうの維持管理を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域道路ネットワークの整備 ● 人にやさしい安全な道路整備

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

(うち継続費・通次繰越分)

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
広域道路ネットワークの整備	(仮称)湘南台寒川線整備促進事業	A	A	A	14,428,050 (5,880,000)
	さがみ縦貫道路整備促進事業	C	A	A	40,000
	国県道整備促進事業	C	A	A	60,000
人にやさしい安全な道路整備	道路整備事業	A	A	B	31,853,374
	道路橋りょう整備事業	A	A	B	134,508,470 (64,691,352)
	道路維持補修事業	A	A	A	59,524,500 (1,795,500)
	安全対策急施事業	A	A	B	19,866,000
	狭あい道路解消事業	A	A	A	16,256,493
	道水路境界確認事業	A	A	A	10,008,339

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
道路網の整備	66 (60)	171 (157)	108 (119)	69 (80)	17 (56)	35 (18)	466 (490)
	14.2% (12.2%)	36.7% (32.0%)	23.2% (24.3%)	14.8% (16.3%)	3.7% (11.4%)	7.5% (3.7%)	100% (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
幹線道路整備延長(都市計画道路のみ)	km	10.5	15	16.8	17.1
町道整備着手率(14路線)	%	25	57	57	75
歩道整備着手率(4路線)	%	25	50	50	75
町道維持工事着手率(45路線)	%	—	42	51	33.3

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 ・さがみ縦貫道については、平成26年度を完成目標に鋭意工事施工中である。 ・都市計画道路については、藤沢大磯線が茅ヶ崎市境から銀河大橋まで4車線の供用が開始され大きく進んだ。宮山線も測量が始まるなど進展が見られるが、その他の路線は進展しなかった。 ・道路整備については、効果的、効率的な道路改良・歩道整備が行われた。 ・寺尾橋については、平成25年11月5日に供用開始した。 ・道路管理について、局所的な補修は効率的に行われた、また、道路維持補修については、道路維持管理計画に基づき実施された。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 国県道整備事業について事業主体が町ではないため妥当性がCとなったが、今後も事業主体の国・県に対し要望を行う。

施策名	1 - 1 - 2	公共交通網の整備
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	都市建設部長
施策関係課等名	都市計画課
シート作成者(主担当である課等の長)	都市計画課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 快適でにぎわいのあるまちづくり (節) 連携を考えた交通環境の整備を進めます
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通機関の利用により町内外へのアクセスがスムーズである。 ●公共交通機関をすべての人が安心して利用している。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●全国との交流連携の窓口となる新幹線新駅の早期実現に向けての取り組みを進めます。 ●安全性の確保や生活利便性の向上、都市活動の活性化を図るため、道路・鉄道・バスなどが連携した、効率的で総合的な交通体系の整備を進めます。 ●本町の特性にあったコミュニティバスのあり方について検討を行います。 ●すべての人が安心して利用できる交通環境の整備検討を進めます。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の充実促進 ●快適な交通環境の整備

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
公共交通の 充実促進	鉄道対策事業	A	D	A	107,000
	コミュニティバス運行事業	C	D	A	25,706,100
	路線バス充実促進事業	C	D	A	0

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
公共交通網の整備	34	90	105	169	38	30	466
	(43)	(98)	(126)	(154)	(51)	(18)	(490)
	7.3%	19.3%	22.5%	36.3%	8.2%	6.4%	100%
	(8.8%)	(20.0%)	(25.7%)	(31.4%)	(10.4%)	(3.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
JR相模線乗客数(3駅合計)	人	10,318	(H24実績値) 10,670	10,700	10,586
路線バス町内乗り入れ便数	便/日	104	104	124	110
駅バリアフリー対策率	%	66.6	66.6	66.6	66.6

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>相模線の複線化については停滞状態にあるが、引き続き要望などを行い輸送力及び利便性の向上を図る。</p> <p>コミュニティバスについては、運賃及び車両等の見直しを実施し、町民の利便性の向上を図る。</p> <p>路線バスについては、海老名市と広域的な連携を図り、寒川駅から海老名駅間の路線バスを実現させる。また、藤沢市、茅ヶ崎市との2市1町の広域の枠組の中でも、新たな路線バスの運行について検討する。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	1 - 2 - 1	公園・緑地等の整備
-----	-----------	-----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	都市建設部長
施策関係課等名	都市計画課
シート作成者(主担当である課等の長)	都市計画課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 快適でにぎわいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 快適な生活環境の整備を進めます

2. 施策内容

めざす姿	●町民が公園・緑地等に集い、楽しんでいる。
基本方針	●水や緑を生かした公園や緑地等の面積を確保し、町民が集い、楽しみ、また、交流やいこいの場などとして整備を進めます。
施策の方向	●公園・緑地等の計画的整備

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
公園・緑地等の計画的整備	公園等整備事業	C	A	A	3,559,500

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
公園・緑地の整備	99	165	82	58	33	29	466
	(125)	(172)	(87)	(55)	(33)	(18)	(490)
	21.2%	35.4%	17.6%	12.5%	7.1%	6.2%	100%
	(25.5%)	(35.1%)	(17.8%)	(11.2%)	(6.7%)	(3.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
1人あたりの公園面積	m ² /人	3.9	3.9	3.9	3.9
町民アンケート調査による現状評価 (十分・やや十分と回答)	%	61		57	65

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	町民一人あたりの公園面積の平成26年度目標値4.0m ² に対し、平成25年度の実績値は3.9m ² となり、目標値に達することが出来た。寒川駅北口地区土地区画整理事業に伴う大塚公園(平成23年度)、大塚古墳公園(平成24年度)の整備により、公園面積が増加したことが要因である。 今後については、外部評価委員会で評価結果を踏まえ、公園整備は抑制し、公園内整備は必要性を十分に鑑みて実施して参ります。 また、町民一人あたりの公園面積については、さむかわ2020プランの目標指標としていますが、その根拠としている『緑の基本計画』を平成27年度に改定する予定であり、それまでの間に必要な調査・検討を行い、町の地理的特徴や町民ニーズを踏まえた計画になるよう努めます。
	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》
今後の取り組み	

施策名	1 — 2 — 2	下水道・河川の整備
-----	-----------	-----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	都市建設部長
施策関係課等名	下水道課／都市計画課
シート作成者(主担当である課等の長)	下水道課長
作成補助者(関係課等の長)	都市計画課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 快適でにぎわいのあるまちづくり (節) 快適な生活環境の整備を進めます
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●下水道の普及により、快適な生活ができている。 ●護岸整備が進み、河川氾濫がない。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●生活雑排水等の汚水を排除・処理し、公衆衛生の向上等に役立つ効率的な維持管理・整備を進めます。 ●浸水被害を防止するため、河川の護岸整備を促進します。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●公共下水道の整備 ●公共下水道の維持 ●河川の整備

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

(うち繰越明許分)

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
公共 の 整 備 水 道	公共下水道整備事業	A	A	F	155,489,980 (39,824,693)
	公共下水道調整区域整備事業	A	A	B	97,046,780 (25,582,625)
	相模川流域下水道建設事業	A	A	A	38,098,000
公共 の 維 持 水 道	公共下水道維持補修事業	A	A	A	44,929,047
	公共下水道接続促進事業	A	A	A	180,000
	相模川流域下水道維持管理事業	A	D	A	159,510,000
	地方公営企業会計システム導入事業	A	A	F	10,416,000
河 川 の 整 備	河川整備促進事業(相模川)	A	A	A	132,000
	河川整備促進事業(小出川)	A	A	A	

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
下水道の整備	142	174	54	41	30	25	466
	(183)	(162)	(49)	(44)	(40)	(12)	(490)
	30.5%	37.3%	11.6%	8.8%	6.4%	5.4%	100%
河川の整備	50	127	99	62	101	27	466
	(79)	(129)	(74)	(46)	(148)	(14)	(490)
	10.7%	27.3%	21.2%	13.3%	21.7%	5.8%	100%
	(16.1%)	(26.3%)	(15.1%)	(9.4%)	(30.2%)	(2.9%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
公共下水道の処理人口普及率	%	91.94	92.38	92.39	93.65
雨水排水施設の整備率	%	96.02	98.07	98.38	98.74
河川の整備率	%	62	71	71	65

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 汚水については、市街化区域は概ね完了している。市街化調整区域は比較的人口が集中している地区を優先に整備を進めている中、財政状況の悪化により、整備ペースが遅くなっているが、確実に整備区域の拡大を図っている。 また経年により老朽化した施設の長寿命化対策工事や、東日本大震災を教訓とした耐震化対策に向けた計画を策定した。また施設機能保全に向けた日常的な維持管理に努めている。 流域下水道負担金については、関連市町により概ね計画的な事業を実施しているが、東日本大震災の影響による経費の増加や、雨天時増水による処理場の負担が課題となっている。今後処理場施設も老朽化が進み、長寿命化対策としての改築工事に対し、関連市町の負担の増額が見込まれる。また、問題視されている雨天時増水に対し、処理場の負担軽減に向け、関連市町独自の対策も課題となっている。 雨水については、幹線函渠は概ね整備済みであるが、近年多発する豪雨に対応するため、冠水、浸水が生ずる区域を優先に枝線の整備を進めており、一定の成果がある。今後は冠水が頻発する区域について、抜本的に計画の見直しを行い、解消を目指す。 経営の安定化を図るため、平成27年度からの公営企業法の適用に向けた作業を進め、スムーズに移行できるように準備を行ってきた。 さらに下水道事業の本来の目的達成や事業効果を高めるための接続促進に努め一定の成果が得られた。 河川の整備については、国・県へ要望活動を通じ着実に整備が進んでおり、今後も近隣市とも協調して要望活動を行う。
現状・課題	
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	1 — 2 — 3	環境美化の推進
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎環境経済部長 ○町民部長
施策関係課等名	町民窓口課/環境課
シート作成者(主担当である課等の長)	環境課長
作成補助者(関係課等の長)	町民窓口課長
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画 登載状況	(章) 快適でにぎわいのあるまちづくり (節) 快適な生活環境の整備を進めます
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	●快適な生活環境が保たれている。
基本方針	●環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、町民と町が協働して美化活動を進めます。
施策の方向	●美化運動の推進 ●環境衛生の向上

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
の 美 化 運 動 の 推 進	まちぐるみ美化運動等事業	C	A	A	1,352,400
	河川美化事業	C	A	A	78,750
	住みよい環境を守り育てる事業	A	D	F	39,950
の 環 境 衛 生 の 向 上	斎場運営維持事業	A	A	A	29,816,663
	動物対策等事業	A	A	A	1,551,722
	スズメ蜂駆除事業	E	E	A	251,475

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
環境美化の推進	57	163	112	47	61	26	466
	(52)	(154)	(104)	(68)	(100)	(12)	(490)
	12.2%	35.0%	24.0%	10.1%	13.1%	5.6%	100%
	(10.6%)	(31.4%)	(21.2%)	(13.9%)	(20.4%)	(2.4%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
自主的な環境美化活動の回数	回	62	75	65	70
町民アンケート調査による現状評価 (十分・やや十分と回答)	%	(H21実績値) 42		(H26実績値) 47.2	45

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	現状・課題 《上記評価に至る分析や判断理由》 まちぐるみ美化運動は、町民の中で定着しており、河川美化については目久尻川、小出川の美化キャンペーンは、25年度で方向性が決まりました。自治会を巻き込んでの動きですが、本来自主的に活動ができ、またごみのポイ捨てをしないマナー作りには、まだ地道な啓発が必要。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	1 — 2 — 4	住環境の向上
-----	-----------	--------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎都市建設部長 ○企画政策部長
施策関係課等名	財政課／都市計画課
シート作成者(主担当である課等の長)	都市計画課長
作成補助者(関係課等の長)	財政課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 快適でにぎわいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 快適な生活環境の整備を進めます

2. 施策内容

めざす姿	●景観に配慮した良好な住環境が形成されている。 ●情報通信環境が整備・活用されている。
基本方針	●新たなまちなみ景観の創造と自然環境の保全ならびに良好な居住環境の形成を図ります。 ●町内の情報通信環境を活用したまちづくりを進めます。
施策の方向	●住環境の整備促進 ●住居表示の推進 ●情報通信基盤の活用

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
住環境の整備促進	景観まちづくり検討事業	A	A	F	0
住居表示の推進	住居表示整備事業	A	A	A	10,605
情報通信基盤の活用	ICT活用事業	C	A	A	41,108,085

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
良好な住環境の整備	36	140	125	67	70	28	466
	(28)	(134)	(122)	(89)	(97)	(20)	(490)
	7.7%	30.0%	26.8%	14.4%	15.0%	6.0%	100%
情報通信基盤の活用	27	101	84	65	159	30	466
	(35)	(78)	(97)	(70)	(192)	(18)	(490)
	5.8%	21.7%	18.0%	14.0%	34.1%	6.4%	100%
	(7.1%)	(15.9%)	(19.8%)	(14.3%)	(39.2%)	(3.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
高度地区指定面積	ha	—	632	632	632
住居表示実施面積	ha	462.1	462.1	462.1	481.7
情報通信を利用したコンテンツ数	件	1	6	10	3

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input checked="" type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
現状・課題	《上記評価に至る分析や判断理由》 住居表示の実施については若干遅れているが、堅調に進んでおり、成果があがっている事業もある。引き続き、予定している事業を推進する必要がある。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 住居表示については区画整理事業の進捗に合わせて実施するため、区画整理事業のスケジュールに変更があった場合は合わせて変更する必要がある。

施策名	1 - 3 - 1	土地利用の適正化
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	都市建設部長
施策関係課等名	都市計画課
シート作成者(主担当である課等の長)	都市計画課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 快適でにぎわいのあるまちづくり (節) 魅力ある市街地の整備を進めます
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	●計画的な土地利用を進めている。
基本方針	●地域の発展動向等を勘案し、適正な土地利用を図ります。
施策の方向	●区域区分の見直し ●適正な土地利用の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
区域区分の見直し	線引き見直し事業	A	A	F	1,260,000
適正な土地利用の推進	土地利用適正化推進事業	A	A	B	0

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
土地利用の適正化	14	54	100	104	164	30	466
	(12)	(52)	(120)	(106)	(182)	(18)	(490)
	3.0%	11.6%	21.5%	22.3%	35.2%	6.4%	100%
	(2.4%)	(10.6%)	(24.5%)	(21.6%)	(37.1%)	(3.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
特定保留区域の市街化編入率	%	0	0	0	100

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input checked="" type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	概ね年次計画どおり進んでいるが、事業の完了をもって、成果があがる事業のため、現時点で成果があがったとは言い切れないため。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 線引き見直しについては実施計画上の年次計画より若干遅れてスタートしているが、県決定案件であり、県の示したスケジュールで県内一斉に行われている事業であるため、そのスケジュールを進めていかざるを得ない。

施策名	1 — 3 — 2	市街地整備の推進
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎拠点づくり部長 ○企画政策部長
施策関係課等名	企画政策課／倉見拠点づくり課／田端拠点づくり課／寒川駅周辺整備事務所
シート作成者(主担当である課等の長)	倉見拠点づくり課長
作成補助者(関係課等の長)	企画政策課長／田端拠点づくり課長／寒川駅周辺整備事務所長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 快適でにぎわいのあるまちづくり (節) 魅力ある市街地の整備を進めます
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	●拠点としての市街地整備が進んでいる。
基本方針	●寒川駅周辺地区は、町の中心市街地にふさわしい基盤整備を進めます。 ●ツインシティ倉見地区は、新幹線新駅誘致地区を中心とした新たな北部の拠点として、環境と共生した新たなまちづくりを図ります。 ●さがみ縦貫道路(仮称)寒川南インターチェンジ周辺の田端西地区は、周辺環境との調和に配慮した計画的な整備を図ります。
施策の方向	●寒川駅周辺地区整備事業の推進 ●ツインシティ倉見地区整備事業の推進 ●田端西地区整備事業の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
寒川駅周辺地区整備事業の推進	寒川駅北口地区土地区画整理事業	A	D	B	258,997,985
	社会資本整備総合交付金事後評価分析事業	A	A	A	1,879,500
ツインシティ倉見地区整備事業の推進	ツインシティ倉見地区整備事業	A	D	C	7,826,615
田端西地区整備事業の推進	田端西地区まちづくり事業	A	A	F	13,431,420

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
中心市街地の整備	63 (33)	150 (107)	98 (115)	95 (136)	36 (78)	24 (21)	466 (490)
	13.5% (6.7%)	32.2% (21.8%)	21.0% (23.5%)	20.4% (27.8%)	7.7% (15.9%)	5.2% (4.3%)	100% (100%)
	17 (20)	24 (26)	46 (46)	105 (130)	252 (246)	22 (22)	466 (490)
ツインシティ倉見地区の整備	3.7% (4.1%)	5.2% (5.3%)	9.9% (9.4%)	22.5% (26.5%)	54.1% (50.2%)	4.7% (4.5%)	100% (100%)
	32	96	88	80	148	22	466
	6.9%	20.6%	18.9%	17.2%	31.8%	4.7%	100%
さがみ縦貫道路寒川北インターチェンジ周辺の整備	29	85	79	71	182	20	466
	6.2% (18)	18.2% (41)	17.0% (69)	15.2% (91)	39.1% (251)	4.3% (20)	100% (490)
	(3.7%)	(8.4%)	(14.1%)	(18.6%)	(51.2%)	(4.1%)	(100%)

(H21年度調査時は北・南と項目を分けず、「さがみ縦貫道路インターチェンジ周辺の整備」という1項目でアンケートを実施)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
寒川駅北口地区土地区画整理事業の整備率	%	89	99	100	100
ツインシティ倉見地区の整備進捗率	%	0	0.1	0.7	0.7
田端西地区の整備進捗率	%	0	0	0	0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	寒川駅北口地区土地区画整理事業は整備が進められている。ツインシティ倉見地区及び田端西地区は、これからという状況である。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	2 — 1 — 1	緑化の推進
-----	-----------	-------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	都市建設部長
施策関係課等名	都市計画課
シート作成者(主担当である課等の長)	都市計画課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 環境と共生したうるおいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 水とみどりの保全と活用を進めます

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然環境が保全されている。 ●町民が水とみどりに親しみ、生活にうるおいを与えている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●自然保護への意識の高揚に努め、自然と親しめる環境づくりを図ります。 ●水と緑に親しめる環境の整備を進めます。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●良好な緑の保全 ●水と緑のまちづくりの推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
良好な緑の保全	保存樹木補助事業	A	D	F	0
	樹木管理事業	A	A	B	206400
	緑化まつり開催事業	A	A	A	0
	生け垣等緑化推進事業	A	D	E	0
水と緑のまちづくりの推進	さがみグリーンライン整備促進事業	A	D	E	0
	目久尻川ふるさとの川整備事業	C	E	Z	0

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
緑化の推進	45 9.7%	153 32.8%	93 20.0%	79 17.0%	69 14.8%	27 5.8%	466 100%
(H21年度調査時は、次の2項目にてアンケートを実施)							
(緑の保全と推進)	(67) (13.7%)	(157) (32.0%)	(105) (21.4%)	(79) (16.1%)	(59) (12.0%)	(23) (4.7%)	(490) (100%)
(水辺空間の創造)	(48) (9.8%)	(137) (28.0%)	(103) (21.0%)	(101) (20.6%)	(78) (15.9%)	(23) (4.7%)	(490) (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
自然環境保全地域面積	ha	11.1	11.1	11.1	11.1
保存樹林指定面積	m ²	16,379	16,379	16,379	16,379
緑化まつり参加者数	人	17,500	30,000	30,000	18,500

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input checked="" type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
現状・課題	《上記評価に至る分析や判断理由》 上記指標に関しては、面積及び参加数であり、予算上の問題のない指標なのでB評価とした。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 生垣推進については、要綱等の見直しを行い、補助要件の緩和を考える。保存樹木・樹林の補助金については、現在休止中ではあるが、近隣の状況を踏まえ補助額の見直しを行う。

施策名	2 — 2 — 1	環境共生の推進
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	環境課
シート作成者(主担当である課等の長)	環境課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画 掲載状況	(章) 環境と共生したうるおいのあるまちづくり (節) 環境にやさしいまちづくりを進めます
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民・事業者等が環境と共生した暮らしをしている。 ● 町民・事業者等が環境共生意識を持ち、環境活動に積極的に参加している。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に関わる施策を総合的、計画的に進めます。 ● 地球環境に配慮した環境と共生したまちづくりを進めます。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境施策の総合的推進 ● 環境教育・学習の推進 ● 環境情報の提供 ● 地球温暖化防止対策の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
環境施策の総合的推進	環境基本計画推進事業	C	A	A	1,015,241
	EMS(環境マネジメントシステム)導入事業	C	D	Z	0
環境教育・学習の推進	環境教育・学習の推進事業	C	A	A	5,000
環境情報の提供	環境情報提供事業	C	A	A	0
地球温暖化防止対策の推進	地球温暖化防止対策推進事業	C	A	A	0

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
環境保全活動の推進	18	80	98	63	179	28	466
	(15)	(71)	(97)	(79)	(197)	(31)	(490)
	3.9%	17.2%	21.0%	13.5%	38.4%	6.0%	100%
	(3.1%)	(14.5%)	(19.8%)	(16.1%)	(40.2%)	(6.3%)	(100%)
地球環境の保全	19	72	83	68	195	29	466
	(13)	(64)	(109)	(106)	(167)	(31)	(490)
	4.1%	15.5%	17.8%	14.6%	41.9%	6.2%	100%
	(2.7%)	(13.1%)	(22.2%)	(21.6%)	(34.1%)	(6.3%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
環境学習講座や自然観察会の参加人数	人	(H21実績値) 64	286	230	80
町役場(本庁舎・分庁舎・東分庁舎)の床面積当たりの二酸化炭素排出量	kg/m ²	49.1	42.0	41.6	47.6
町内事業者の環境マネジメントシステム(ISO14001等)の導入件数	件	60	63	64	63

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>環境マネジメントシステムの導入は、多くの人材と費用が掛かり、地方自治体も認証を返上し自己適合宣言に移行するところが増えている。町も町内事業者への取得を促し、環境負荷低減に資するため、認証と同等の基準を満たすことで、自己適合宣言をする等の方法を検討する必要がある。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	2 — 2 — 2	公害の防止
-----	-----------	-------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	環境課
シート作成者(主担当である課等の長)	環境課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画	(章) 環境と共生したうるおいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 環境にやさしいまちづくりを進めます

2. 施策内容

めざす姿	●公害のない暮らしが保たれている。
基本方針	●公害防止に関する啓発等を実施し、防止対策の推進を図ります。 ●町と事業所が相互に協力して、公害防止対策に取り組み、事業所と地域が良好な関係を築く仕組みを作ります。 ●発生した公害等の問題に対しては、行政は関係機関と連携し、適切に対応します。
施策の方向	●啓発強化と情報収集 ●適切な調査・監視の実施 ●環境保全協定による公害防止の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
啓発強化と情報収集・環境保全協定による公害防止の推進	公害防止対策事業	A	A	A	0
適切な調査・監視の実施	水質等検査事業	A	D	A	4,233,075

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
公害の防止	39	143	128	87	45	24	466
	(34)	(120)	(149)	(124)	(40)	(23)	(490)
	8.4%	30.7%	27.5%	18.7%	9.7%	5.2%	100%
	(6.94%)	(24.49%)	(30.41%)	(25.31%)	(8.16%)	(4.69%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
公害の未然防止に関する啓発を行った事業所及び研修会に参加した事業所の合計	件	230	226	230	258
環境測定項目の環境基準達成率	%	98	100	100	100
環境保全協定締結の対象事業所との締結割合	%	83	100	100	100

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	騒音、振動の苦情が倉見地区で寄せられている。水質事故等は町民からの通報で現場に駆けつけていることが多い。公害では野焼きの苦情が多い。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	2 — 2 — 3	資源の有効活用の推進
-----	-----------	------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	環境課
シート作成者(主担当である課等の長)	環境課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画 掲載状況	(章) 環境と共生したうるおいのあるまちづくり (節) 環境にやさしいまちづくりを進めます
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	●分別収集によるごみの資源化が行われている。 ●クリーンエネルギーが普及されている。
基本方針	●環境負荷の低減を図るため、ごみの減量化とリサイクル活動を進めます。 ●地球環境にやさしいエネルギーの導入を進めます。
施策の方向	●ごみの減量化・資源化の推進 ●エネルギーの有効活用の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
ごみの減量化・資源化の推進	資源物分別処理推進事業	A	A	A	7,397,195
	ごみ減量化推進事業	A	D	A	12,558,491
エネルギーの有効活用の推進	クリーンエネルギー有効活用事業	C	A	A	3,489,280

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
リサイクル活動の推進	91	189	66	38	61	21	466
	(81)	(198)	(96)	(42)	(48)	(25)	(490)
	19.5%	40.6%	14.2%	8.2%	13.1%	4.5%	100%
	(16.5%)	(40.4%)	(19.6%)	(8.6%)	(9.8%)	(5.1%)	(100%)
エネルギー対策の推進	10	27	79	140	190	20	466
	(5)	(15)	(72)	(212)	(156)	(30)	(490)
	2.2%	5.8%	17.0%	30.0%	40.8%	4.3%	100%
	(1.0%)	(3.1%)	(14.7%)	(43.3%)	(31.8%)	(6.1%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
ごみの1人1日当たりの排出数	g/人・日	851	(H24実績値) 855	850	820
リサイクル率	%	22.3	(H24実績値) 22.4	22.5	28.0
電気自動車導入累積件数	件	2	30	33	18
太陽光発電システム導入件数 (町補助による累計件数)	件	53	264	344	133

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input checked="" type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
現状・課題	《上記評価に至る分析や判断理由》 ごみの一人当たりの搬出量は、事業所から発生する事業系一般廃棄物も含まれており、それを除いた数値を公表することも検討したい。 クリーンエネルギーは順調に普及しており、平成26年度からは、新たに家庭用燃料電池システム(エネファーム)の補助を開始し、普及促進に努めている。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 計画で定めた目標値を達成できていないため、新規格生ごみ処理器の斡旋販売、環境課独自の機関紙の発行、リサイクルセンター施設見学会の開催等を実施し、ごみの減量化、資源化の推進に努めていく。

施策名	2 — 2 — 4	廃棄物の適正処理
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	環境課
シート作成者(主担当である課等の長)	環境課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画 掲載状況	(章) 環境と共生したうるおいのあるまちづくり (節) 環境にやさしいまちづくりを進めます
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物が適正に処理されている。 ●適正にし尿処理が行われている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみの収集時における分別の徹底による資源化により、適正な処理を図り、循環型社会をめざします。 ●ごみの処理施設整備について、効率的な施設整備を図ります。 ●衛生的で効率的な、し尿処理を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●収集処理体制の充実 ●ごみ処理施設の整備 ●し尿処理対策の確保

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
収集処理体制の充実	じん芥収集運搬処理事業	A	A	A	412,858,936
	処理困難物処理事業	C	D	A	2,916,049
	最終処分地確保対策事業	A	A	A	148,973
ごみ処理施設の整備	広域じん芥処理施設整備事業	A	A	F	0
し尿処理対策の確保	し尿収集運搬事業	A	D	B	24,999,996
	し尿中間処理事業	A	A	B	56,617,033
	し尿最終処理事業	A	A	A	5,948,194

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
ごみの収集処理対策の推進	78 (119)	191 (193)	78 (83)	39 (48)	46 (27)	34 (20)	466 (490)
	16.7% (24.3%)	41.0% (39.4%)	16.7% (16.9%)	8.4% (9.8%)	9.9% (5.5%)	7.3% (4.1%)	100% (100%)
	82 (117)	117 (114)	39 (39)	16 (20)	182 (168)	30 (32)	466 (490)
し尿の収集処理体制の推進	17.6% (23.9%)	25.1% (23.3%)	8.4% (8.0%)	3.4% (4.1%)	39.1% (34.3%)	6.4% (6.5%)	100% (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
広域ごみ処理施設数	箇所	1	2	2	2
焼却灰発生量	t/年	1,753	1,565	1,519	1,577
最終処分地確保数	箇所	1	4	3	2

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画にもあるように、平成27年4月から不燃ごみの受入がスタートします。適正処理はされており、ごみの減量化、資源化を今後も進めていく。美化センターは、し尿処理施設として本年度で20年を経過しており、機能検査等を実施し、しせつの延命化を図る必要があります。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	3 — 1 — 1	健康づくりの充実
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎健康子ども部長 ○福祉部長
施策関係課等名	高齢介護課／保険年金課／健康・スポーツ課
シート作成者(主担当である課等の長)	健康・スポーツ課長
作成補助者(関係課等の長)	高齢介護課長／保健年金課長
作成年月日	平成26年4月18日

後期基本計画	(章)安心で生きがいのあるまちづくり
掲載状況	(節)明るく生きがいのある健康づくりを進めます

2. 施策内容

めざす姿	●町民が健康づくりに関する自覚と認識を深め、日ごろから心身ともに健康で生活している。 ●町民が心身ともに健康的な生活がおくれるように、地域等とも連携しながら、健康づくり・介護予防を進めます。 ●健康づくりに自主的に取り組んでいる団体・グループを育成・支援するとともに、健康・保健活動の拠点となる施設の機能の充実を図ります。 ●町民一人ひとりが「食」の大切さを再認識し、自らの健康づくりにつなげることができるよう、「食育」の取り組みを進めます。 ●町民のライフステージにそった各種健(検)診の充実を図るとともに、疾病の予防と早期発見に対する適切な指導を行い、健康増進を図ります。
基本方針	
施策の方向	●健康づくりの支援 ●保健事業の充実 ●介護予防の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
健康づくりの支援	健康普及事業	C	A	A	301,515
保健事業の充実	健康増進事業	A	A	B	78,837,903
	健康診査事業	A	A	A	24,289,252
	国民健康保険制度推進事業(保健事業)	A	A	C	37,062,460
介護予防の推進	二次予防事業通所型介護予防事業	C	D	C	6,232,577
	二次予防事業対象者把握事業	C	A	A	2,700,919
	一次予防事業通所型介護予防事業	C	D	A	7,660,000
	高齢者スポーツ大会事業	C	D	A	270,000
	生活支援型デイサービス運営事業	C	E	E	56,680,000
	介護予防普及啓発事業	C	D	A	159,600

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
健康づくりの充実	33 7.1%	142 30.5%	106 22.8%	33 7.1%	120 25.8%	32 6.9%	466 100%
(H21年度調査時は、次の2項目にてアンケートを実施)							
(健康づくりの推進)	(35) (7.1%)	(99) (20.2%)	(133) (27.1%)	(111) (22.7%)	(81) (16.5%)	(31) (6.3%)	(490) (100%)
(健康づくりの支援)	(23) (4.7%)	(112) (22.9%)	(132) (26.9%)	(67) (13.7%)	(130) (26.5%)	(26) (5.3%)	(490) (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
健康普及事業の参加者数	人	2,000	2,561	2,500	2,100
健康増進事業の参加者数	人	350	763	490	450
特定健康診査の受診率	%	33.0	32.2	40.0	65.0
がん検診の受診(初診)者数	人	1,900	3,160	2,600	1,900
介護予防事業の延べ参加者数	人	1,960	2,263	2,360	2,360

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率は、国の目標値に達していないため、無料クーポン券による子宮頸がん検診対象の20歳代と、乳がん検診対象の40歳女性の未受診者に対して再勧奨通知を行い、受診行動につなげることができた。 ・精密検査受診の把握できない者に受診勧奨の再通知を行うことで、約7割の者が短期間で受診したことにより、治療や経過観察につなげることができた。 ・生活習慣病の予防・重症化予防のための「かながわ保健指導モデル事業」(期間3年間)を、25年度より開始した。県、保健所等との連携により、対象者が自ら気づき行動するという保健指導を展開し、モデル事業の支援体制の構築を図った。 ・介護予防事業においては、定員に満たない教室があり改善の余地があるが、目的は達成されていると考える。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	3 — 1 — 2	医療体制・保健衛生の充実
-----	-----------	--------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	健康子ども部長
施策関係課等名	健康・スポーツ課
シート作成者(主担当である課等の長)	健康・スポーツ課スポーツ課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年4月18日

後期基本計画	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 明るく生きがいのある健康づくりを進めます

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民が安心して医療を受けることができる。 ● 町民が感染症予防に取り組み、発症してもまん延が最小限にとどまっている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民が安心できる医療体制の確保と充実を図るため、医師会等の医療関係機関と連携を図ります。 ● 感染症のまん延防止対策を進めます。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域医療体制の充実 ● 救急医療体制の充実 ● 保健衛生の充実

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
地域医療体制の充実	医師会等補助事業	C	A	A	606,000
	看護師確保対策事業	A	A	F	1,760,000
救急医療体制の充実	救急医療確保対策事業	A	A	A	9,286,235
	献血推進事業	C	A	B	0
保健衛生の充実	予防接種事業	A	A	A	112,382,597
	感染症予防事業	A	A	A	16,490
	自治食品衛生協会補助事業	C	D	B	15,000

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
地域医療の充実	34	126	120	108	45	33	466
	(36)	(146)	(139)	(101)	(45)	(23)	(490)
	7.3%	27.0%	25.8%	23.2%	9.7%	7.1%	100%
	(7.3%)	(29.8%)	(28.4%)	(20.6%)	(9.2%)	(4.7%)	(100%)
保健衛生の充実	52	171	70	40	100	33	466
	(40)	(140)	(110)	(80)	(95)	(25)	(490)
	11.2%	36.7%	15.0%	8.6%	21.5%	7.1%	100%
	(8.2%)	(28.6%)	(22.4%)	(16.3%)	(19.4%)	(5.1%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
町民アンケート調査における地域医療に対する現状評価(十分・やや十分と回答)	%	(H21実績値) 37.1		(H26実績値) 34.3	50.0
休日昼間・夜間診療の提供率	%	100	100	100	100
予防接種の接種率	%	49.0	64.0	70.0	55.0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民が安心して医療を受けられる体制づくりとして、休日在宅医制度の委託料に関する検討を行った。また、藤沢市・茅ヶ崎市との2市1町広域行政として、藤沢市医師会立看護専門学校への補助金支出・連絡会議の立ち上げ等による体制が整い、看護師確保に向けた連携が始まった。 ・25年度秋の台風時において床下浸水が発生し、経験者の助言を得て、数年ぶりに消毒を行った。未経験者が多かったこの経験により、今後の対応策として、マニュアルの作成を行った。 ・年度当初の風しんの大流行のため、年間に亘り大人に対する臨時予防接種を行った。
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	3 — 2 — 1	地域福祉の充実
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	福祉部長
施策関係課等名	福祉課
シート作成者(主担当である課等の長)	福祉課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり (節) 心のかよいあう福祉を充実します
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	●住民相互の支え合いや地域での福祉活動が充実し、高齢者や子ども、障がいのある人などが地域社会の一員として、豊かで生活しやすい環境づくりができています。
基本方針	●地域に密着した福祉サービスを進めるため、地域、保健、医療、福祉等との連携を図りながら、地域における福祉活動の充実を図ります。 ●高齢者や子ども、障がいのある人などが安心して快適に生活できるバリアフリーのまちづくりを進めます。
施策の方向	●地域福祉活動の推進 ●福祉の環境・拠点づくりの推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
地域福祉活動の推進	民生委員児童委員活動事業	C	A	A	12,533,147
	社会福祉協議会補助事業	C	D	B	34,419,525
	虚弱者支援事業	C	A	F	0
	災害等援護事業	C	A	A	423,000
	災害見舞金支給事業	C	A	A	200,000
	戦没者遺族等援護事業	C	A	A	572,250
	地域福祉計画推進事業	C	D	E	22,000
	臨時福祉給付金給付事業	A	A	F	522,902

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
地域福祉の充実	21	81	121	93	115	35	466
	(11)	(43)	(118)	(119)	(171)	(28)	(490)
	4.5%	17.4%	26.0%	20.0%	24.7%	7.5%	100%
	(2.2%)	(8.8%)	(24.1%)	(24.3%)	(34.9%)	(5.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
福祉ボランティア派遣人数	人	2,373	2,412	2,429	2,429
小地域福祉活動等の推進地区数	地区	12	13	14	18
健康福祉総合拠点施設整備数	箇所	0	0	0	0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>各事業の目標や効果から、全般的には支援を必要とする人が利用しやすく、分かりやすい福祉サービスが提供できている。</p> <p>一方、社会福祉協議会補助事業については自主財源の確保について、また、地域福祉計画推進事業については、町計画と社協計画の連携が課題となっている。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p> <p>社会福祉協議会については、今後も事業ごとに実態把握に努めるとともに協議を重ね、適正を図っていく。また、組織の強化と財源確保が出来るような事業について、計画的に進めるよう協議を重ねていく。地域福祉計画推進事業については、町計画と社協計画の一体化について連携して進める。</p>

施策名	3 — 2 — 2	高齢者福祉の充実
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	福祉部長
施策関係課等名	高齢介護課
シート作成者(主担当である課等の長)	高齢介護課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり (節) 心のかよいあう福祉を充実します
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者が生きがいを持って社会と関わっている。 ●高齢者ができる限り介護を必要とせず、地域で見守られ、支えられて暮らしている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の社会参加や就業機会の確保を図り、高齢者の生きがいを育む環境づくりを進めます。 ●高齢者が住み慣れた場所で安心・安全に生活できるよう地域ケア体制を構築するとともに、高齢者のニーズに即した支援の充実を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●生きがいのある生活の促進 ●高齢者の就労機会の充実 ●高齢者地域ケア体制の充実 ●高齢者在宅福祉サービスの充実

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
生きがいの促進	敬老金支給事業	C	D	A	810,300
	敬老会事業	C	D	D	1,166,000
	老人クラブ育成事業	C	D	A	3,532,040
	老人憩の家運営事業	D	D	D	3,862,587
	ふれあいセンター運営事業	A	A	A	10,145,871
高齢者の就労機会の充実	シルバー人材センター支援事業	A	D	B	20,754,000
高齢者地域の充実	包括的支援事業	C	A	A	19,713,561
	家族介護支援事業	C	A	A	221,600
	認知症高齢者見守り事業	C	A	A	303,550
	成年後見制度利用支援事業	C	A	A	1,206,050
高齢者在宅福祉サービスの充実	ひとり暮らし老人緊急通報システム事業	C	D	B	947,415
	ねたきり老人等個別じん芥収集事業	C	A	A	2,237,829
	生活管理指導短期宿泊事業	A	A	B	224,200
	給食サービス事業	D	A	A	944,775
	寝具乾燥・丸洗いサービス事業	D	D	A	116,873
	はり・灸・マッサージ治療扶助事業	D	E	B	3,050,000
	寝たきり高齢者等おむつ代助成事業	C	A	A	1,867,867
	湘南広域社会福祉協会負担金事業	A	A	A	2,184,412
	老人保護措置事業	A	A	F	17,477,362
	福祉用具・住宅改修支援事業	C	A	B	38,000
	旧措置者等利用者負担額軽減事業	C	D	C	104,687
	外国籍高齢者福祉給付金事業	C	A	F	0
寒川町高齢者保健福祉計画見直し事業	A	A	A	290,208	

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
高齢者福祉の充実	18	84	121	86	127	30	466
	(14)	(55)	(117)	(116)	(165)	(23)	(490)
	3.9%	18.0%	26.0%	18.5%	27.3%	6.4%	100%
	(2.9%)	(11.2%)	(23.9%)	(23.7%)	(33.7%)	(4.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
ふれあいセンター利用者数	人	12,297	16,488	16,000	12,500
シルバー人材センターを通じて就労の場を得ている人の数	人	315	351	350	317
地域包括支援センターへの相談件数	件	2,992	4,028	4,000	3,600

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	<p>・ふれあいセンター利用者は、22年度実績に比べ4,191人増、率で34.1%増となり計画数値を大きく上回っている。</p> <p>これは、ふれあいセンターにシルバー人材センター及び老人クラブの事務所を設置していることと介護予防事業の教室を実施していること等により知名度が上がってきたことにより利用者が増えてきている。</p> <p>・シルバー人材センターにおいては、就労人数の伸びは大きくないが、計画時の契約件数1,172件に対し、621件と449件増え、就労機会は増えている。</p> <p>これは、受託事業の拡大のため、理事と事務局職員で企業回りや会員による一般家庭へのPRを行ったことによる、今後は、就業開拓員を設置し、一般家庭及び企業訪問を行う予定。</p> <p>・包括支援センターの相談事業は、22年度実績に比べ1,036人増、率で34.6%増となり計画数値を大きく上回っている。</p> <p>これは、今までは来庁・電話・ファックスが主であったが、リスクの大きい75歳以上独居老人に対し、生活相談、介護保険や福祉サービスの案内を始めたことによる。</p>
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	3 — 2 — 3	子育て支援の充実
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	健康子ども部長
施策関係課等名	子ども青少年課／健康・スポーツ課
シート作成者(主担当である課等の長)	子ども青少年課長
作成補助者(関係課等の長)	健康・スポーツ課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 安心で生きがいのあるまちづくり (節) 心のかよいあう福祉を充実します
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	●子育て家庭がゆとりを持って安心して子育てを行うことができ、子どもが健やかに育っている。
基本方針	●子どもを安心して生み、育てることのできる環境づくりを進めるとともに、子育て支援の機能や母子保健の充実を図ります。
施策の方向	●子育て支援の充実 ●母子保健の充実 ●保育環境の充実

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
子育て支援の充実	子育て支援事業	A	A	A	27,339,660
	乳児家庭全戸訪問事業	A	A	B	0
	児童手当支給事業	A	D	A	851,705,000
	小児医療費助成事業	C	D	A	123,236,746
	ひとり親家庭等医療費助成事業	C	A	A	28,231,419
	児童クラブ運営事業	C	D	A	16,340,143
	次世代育成支援対策行動計画等推進事業	A	A	A	65,000
	特定不妊治療費助成事業	C	A	A	1,125,000
	養育医療費助成事業	A	A	A	1,176,993
	子ども・子育て支援新制度準備事業	A	A	A	2,508,815
母子保健の充実	母子保健事業	A	A	A	28,772,539
保育環境の充実	町立保育園運営事業	D	D	A	547,120,773
	保育園管外委託事業	A	A	A	29,485,768
	児童運営事業	A	A	A	11,104,482
	町立保育園民設化推進事業	A	A	A	21,000

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
子育て支援の充実	23	84	93	77	154	35	466
	(16)	(64)	(102)	(102)	(173)	(33)	(490)
	4.9%	18.0%	20.0%	16.5%	33.1%	7.5%	1
	(3.3%)	(13.1%)	(20.8%)	(20.8%)	(35.3%)	(6.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
地域子育て支援拠点数	箇所	1	1	1	2
父親母親教室(初妊婦)参加率	%	37.7	45.2	45.2	45
認可保育所定員数	人	540	540	540	630

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 少子化の進行、子育て環境が変化する中、次世代育成支援対策行動計画に基づき、子育て家庭への支援や母子保健の充実を図ることができた。また新たに、不妊に悩む方への「特定不妊治療費助成事業」を開始し、治療費の一部を助成することで、負担の軽減を図った。父親・母親教室は、コース増設により日曜日開催が増えたことで父親の参加が延べ68人から延べ75人増加し、夫婦で子育てをする意識づけを図ることができた。 平成23年度から民設化の検討を始めた町立保育園については、26年度から民間保育所としてスタート出来るよう、事務を進め、年度末に移管した。
現状・課題	
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	3 — 2 — 4	障がい福祉の充実
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎福祉部長 ○健康子ども部長
施策関係課等名	福祉課／子ども青少年課
シート作成者(主担当である課等の長)	福祉課長
作成補助者(関係課等の長)	子ども青少年課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり (節) 心のかよいあう福祉を充実します
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●障がいのある人が地域社会の一員として安心していきいきと暮らしている。 ●障がいのある人とその家族が地域で安定した生活ができている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●障がいのある人の自立した日常生活と社会参加を促進するための環境整備に努めるとともに、在宅福祉サービスの充実を図ります。 ●障がいのある人やその家族が地域で安定した生活ができるよう、サービス支援体制・相談支援機能の強化を図るとともに、サポートする人材の養成やその人材の技術向上の支援を進めます。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●自立と社会参加の促進 ●在宅福祉サービスの充実 ●障がい福祉施設の確保 ●相談支援体制の充実

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
自立と社会参加の促進	補装具交付等事業	A	A	A	10,434,613
	施設通所交通費助成事業	C	A	B	2,422,220
	コミュニケーション支援事業	A	A	B	3,503,801
	福祉タクシー助成事業	C	A	C	2,453,500
	障害者福祉団体体育成補助事業	D	D	D	110,000
	児童発達支援事業	C	A	A	9,650,184
	地域就労援助センター補助事業	A	A	A	901,670
	地域活動支援センター機能強化事業	A	A	B	10,162,641
	障害者自立支援給付事業	A	D	A	583,382,505
	障害者地域生活サポート事業	C	D	B	115,177
	社会参加促進事業	A	A	B	623,500
	地域生活支援給付事業	A	A	A	689,490
	児童福祉給付事業	A	A	A	20,012,248
	(仮称)寒川町障がい者福祉計画策定事業	A	A	B	0
在宅福祉サービスの充実	日常生活用具給付等事業	A	A	A	8,570,328
	在宅重度心身障害者寝具乾燥等事業	D	D	B	90,585
	重度障害者住宅設備改良費助成事業	C	A	E	585,500
	更正医療費助成事業	A	A	A	46,642,679
	療養介護医療費助成事業	A	A	A	5,525,792
	重度障害者等医療費助成事業	C	A	B	165,068,376
	育成医療費助成事業	A	A	A	792,565
障害福祉施設の確保	障害福祉サービス等地域拠点事業所配置事業	A	A	F	217,950
相談支援体制の充実	相談支援事業	A	A	A	15,028,000
	障害者虐待防止対策支援事業	A	A	A	1,142,000

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
障がい福祉の充実	19	52	79	58	224	34	466
	(8)	(26)	(73)	(73)	(280)	(30)	(490)
	4.1% (1.6%)	11.2% (5.3%)	17.0% (14.9%)	12.5% (14.9%)	48.1% (57.1%)	7.3% (6.1%)	100% (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
地域活動支援センターの設置数	箇所	0	1	1	1
一般就労した障害のある人の数(累計)	件	5	8	10	15
障害福祉サービス実利用件数	人	342	442	464	353
相談支援件数	件	2,230	3,291	3,024	3,024

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 障がい福祉の充実について、自立と社会参加の推進を図る障害者自立支援給付事業や在宅福祉サービスの充実を図る日常生活用具等給付事業など各種事業を実施し、概ね計画どおり施策は推進されており、成果はあがっている。
現状・課題	
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	3 — 2 — 5	社会保障制度の推進
-----	-----------	-----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	福祉部長
施策関係課等名	高齢介護課／保険年金課
シート作成者(主担当である課等の長)	保険年金課長
作成補助者(関係課等の長)	高齢介護課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり (節) 心のかよいあう福祉を充実します
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民が社会保障制度に守られて安心して暮らしている。 ● 各種制度の周知・理解が進むとともに、健全な運営が確保されている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民の健康づくりの推進や医療費の適正化を図るとともに、国民健康保険事業の健全な運営を図ります。 ● 高齢化が進む中で、高齢者の医療制度の充実を図ります。 ● 介護保険制度に対する町民の理解を深め、適切なサービス提供を行うとともに、介護保険制度の円滑な運営を図ります。 ● 国民年金制度に対する町民の理解を深め、加入促進を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民健康保険制度の充実 ● 高齢者医療制度の充実 ● 介護保険制度の充実 ● 国民年金制度の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
国民健康保険制度の充実	国民健康保険制度推進事業(給付)	A	A	A	3,709,539,298
	国民健康保険制度推進事業(賦課)	A	A	A	19,512,168
	国民健康保険制度推進事業(徴収)	A	A	A	
	国民健康保険高額療養費貸付事業	C	A	F	0
	国民健康保険出産費貸付事業	C	A	F	0
高齢者医療制度の充実	後期高齢者医療推進事業	A	A	A	631,809,547
介護保険制度の充実	介護認定審査会事業	A	A	A	6,913,150
	認定調査等事業	A	A	C	14,848,233
	介護保険給付事業	A	A	A	1,903,841,043
	介護保険料賦課徴収事業	A	A	A	1,753,904
	介護相談員派遣事業	C	A	A	2,027,430
国民年金制度の推進	国民年金推進事業	A	A	A	875,700

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
国民健康保険制度の充実	40 (47)	111 (97)	72 (81)	50 (72)	160 (170)	33 (23)	466 (490)
	8.6% (9.6%)	23.8% (19.8%)	15.5% (16.5%)	10.7% (14.7%)	34.3% (34.7%)	7.1% (4.7%)	100% (100%)
高齢者医療制度の充実	30 (24)	98 (62)	88 (79)	56 (90)	171 (208)	23 (27)	466 (490)
	6.4% (4.9%)	21.0% (12.7%)	18.9% (16.1%)	12.0% (18.4%)	36.7% (42.4%)	4.9% (5.5%)	100% (100%)
介護保険制度の充実	24 (10)	67 (41)	84 (61)	59 (108)	209 (245)	23 (25)	466 (490)
	5.2% (2.0%)	14.4% (8.4%)	18.0% (12.4%)	12.7% (22.0%)	44.9% (50.0%)	4.9% (5.1%)	100% (100%)
国民年金制度の推進	17 (13)	54 (39)	76 (73)	68 (100)	226 (234)	25 (31)	466 (490)
	3.7% (2.7%)	11.6% (8.0%)	16.3% (14.9%)	14.6% (20.4%)	48.5% (47.8%)	5.4% (6.3%)	100% (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
国民健康保険医療保険料収納率	%	90.6	92.9	92.5	92.0
介護保険料収納率(国の収納基準97%)	%	98.5	97.5	97.8	98.5
居宅介護(予防)サービス年間平均利用率	%	58.0	65.9	68.6	59.0
国民年金保険料収納率	%	60.3	58.6	59.8	65.0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	法令により実施しなければならない事業は適切に実施されている。各種制度の周知は広報、HP等様々な方法を更に研究し活用する必要がある。また、対象者が高齢者の場合もあり、窓口・電話等丁寧に説明し理解を求めている。 国民健康保険料収納率は、徴収対策を適正に行い上昇している。前年度収納率の維持・向上を目指し取り組んでいく。 貸付事業の利用者は少ないが、被保険者の経済的支援のため事業継続の必要がある。 介護保険料収納率は、現年度分と滞納繰越分合わせた徴収率は伸び悩んでいるが、現年度の徴収率は、国の基準(97%)を超え、微増ながら向上している。 (22年度 98.48%、23年度 98.55%、24年度 98.62%、25年度98.78%)
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	3 — 3 — 1	防災対策の充実
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎企画政策部長 ○福祉部長／都市建設部長
施策関係課等名	危機管理課／福祉課／都市計画課
シート作成者(主担当である課等の長)	危機管理課長
作成補助者(関係課等の長)	福祉課長／都市計画課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 安心して暮らせるまちづくりを充実します

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●「自らの身は、自ら守る。皆のまちは、皆で守る。」という認識のもと、町民や企業の災害に対する備えができています。 ●「町、件、町民、企業、その他の防災関係機関が自らの責任を自覚して果たすとともに、相互に強調して取り組む準備ができています。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●町民等の生命や財産を守るため、「寒川町地域防災計画」を指針に、常にさまざまな事態発生を想定しながら、町民等の防災意識の高揚、正確で迅速な情報収集と提供、初動体制の確立など、防災体制の充実を図ります。 ●災害時に備え、自主防災組織の強化や要援護者支援体制づくりへの支援、防災資機材等の充実確保や地域防災訓練の充実、防災協定の拡充など、過去に発生した大震災を教訓にあらゆる被害想定に対応できるよう防災体制の充実を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●防災意識の高揚 ●自主防災組織の強化 ●防災資機材等の充実 ●地域防災訓練の充実 ●防災協定の拡充

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
防災意識の高揚	防災活動充実事業	C	A	C	90,000
	木造住宅耐震改修促進事業	C	A	B	6,070,750
	国民保護計画推進事業	A	A	C	0
自主防災組織の強化	自主防災活動事業	C	D	B	2,907,465
	災害時要援護者支援事業	A	A	B	64,995
防災資機材等の充実	防災行政用無線整備事業	A	A	A	446,559
防災資機材等の充実・地域防災訓練の充実	地震対策事業	A	A	F	10,138,390
防災協定の拡充	防災協定拡充事業	A	A	A	0

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
防災対策の充実(自助・共助)	16	91	153	117	63	26	466
	3.4%	19.5%	32.8%	25.1%	13.5%	5.6%	100%
防災対策の充実(公助)	16	74	93	93	156	34	466
	3.4%	15.9%	20.0%	20.0%	33.5%	7.3%	100%
(H21年度調査時は、自助・共助と公助に項目を分けて、「防災対策の充実」という1項目でアンケートを実施)	(22)	(94)	(109)	(81)	(157)	(27)	(490)
	(4.5%)	(19.2%)	(22.2%)	(16.5%)	(32.0%)	(5.5%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
総合防災訓練の参加者数	人	720	750	750	750
全世帯における自主防災組織への加入率	%	77.9	75.3	74.7	79.0
把握済み要援護者数(累計)	人	512	918	1,000	1,000
木造住宅耐震化率	%	83.0	85.0	85.0	88.0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input checked="" type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 町・自主防災組織・関係機関等が、相互に関連をもって防災対策を実施しているが、なかでも、自主防災組織の育成、防災訓練等の実施による啓発活動や地域防災力向上の推進、防災備蓄機材等の整備に対してさらなる啓発が必要。また、災害時要援護者の把握についても、すべての自治会が実施でき、災害時要援護者情報の活用方法について検討していくことが必要。 防災に対する啓発活動については、自主防災組織の訓練や家族防災会議の日などのような取り組みは進んでいるものの、国民保護計画の啓発については、十分とは言えない。 防災資機材については、関係機関等と協議しながら、計画的な備蓄に努め、医療救護所の備蓄についても取り組みを進めているが、食料備蓄なども含め防災備蓄品目及び数量等について見直しを図る必要がある。 防災情報の伝達方法(情報発信)について、防災行政用無線、町ホームページ、ツイッター、メール配信等の対策を講じているが、まだ、利用者が少ないなどの課題がある。また、災害時の通信手段の確保も重要であることから、通信手段の複数化を進める必要がある。 また、災害時における防災協定の締結の推進についても、町が必要とする業種との連携が、十分とは言えない現状がある。
現状・課題	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 自主防災組織が、自主防災活動の重要性をしっかりと理解し、円滑な活動を進めていくためには、活動のヒントとなる事例や手法を紹介するなどの積極的な指導を行うと共に、その活動を継続することにより地域の防災力が高まり、最終的には、町全体の防災力の強化に繋がる。 災害時要援護者情報の活用については、災害時要援護者支援制度推進分科会で協議を進める。 国民保護計画の啓発については、広報や町ホームページでも情報発信を定期的に行うと共に、より理解していただけるような啓発パンフレットやチラシなどで、様々な機会を捉えて、少しでも浸透するよう活動を推進します。 防災資機材については、引き続き、関係機関等と協議しながら、計画的な備蓄を進めると共に、食料備蓄なども含め、具体的な訓練(避難所運営訓練、救護所開設訓練など)を実施するなかで、今後、防災備蓄品目及び数量等について、定期的(3年程度毎)な見直しを図る。 防災情報の伝達方法(情報発信)については、町が発信する様々な情報を、平常時から多くの方に利用していただけるように、関係部署等と広く普及させる取り組みを進める。また、通信手段の充実については、防災行政用無線のマストの交換、MCA無線、PHS電話など、複数化を進めます。 協定締結の推進については、町が災害時に必要とする業種との連携を推進するためにも、計画的(年間5件程度を目標)に、着実に防災協定の締結を進める。
今後の取り組み	

施策名	3 — 3 — 2	消防・救急体制の充実
-----	-----------	------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	消防長
施策関係課等名	消防総務課／予防課／消防署
シート作成者(主担当である課等の長)	消防総務課長
作成補助者(関係課等の長)	予防課長／消防署長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 安心して暮らせるまちづくりを充実します

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●火災や地震などの災害による被害が減っている。 ●救急における救命率が上がっている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●火災の未然防止と迅速な消火活動等ができる消防体制の充実強化とともに、消防施設等の基盤整備の充実を図ります。 ●災害時の消防相互応援協定や消防の広域連携の検討等を推進し、効率的で効果的な消防力の充実を図ります。 ●町民、地域、企業、消防機関がいったいとなって防火・防災意識の高揚や災害予防活動の推進を図るとともに、防火団体の育成を図ります。 ●町民等への気象情報や災害情報の提供を進めます。 ●災害時における救急救助活動を円滑に行うため、資機材等の整備と救急救助訓練の充実を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●消防体制の強化 ●広域連携等の推進 ●火災予防の推進 ●救急救助体制・救急救命の連携の強化

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
消防体制の強化	消防職員研修事業	A	A	A	5,683,808
	消防出初式事業	A	A	B	55,173
	消防緊急通信指令施設整備事業	A	A	F	29,699,902
	消防水利整備事業	A	A	A	4,242,342
	消防団活動事業	A	A	A	4,847,081
	消防車両等整備事業	A	A	A	65,407,786
	消防活動事業	A	A	A	1,343,180
	消防団活性化事業	A	A	A	0
	消防施設整備事業	A	A	A	1,276,747
広域連携等の推進	消防広域化検討事業	A	A	A	0
火災予防の推進	火災予防推進事業 (町民への防火思想啓発回数)	C	A	A	1,766,652
	火災予防推進事業 (特定防火対象物にて行う訓練実施回数)	C	A	A	
	防火団体育成事業	A	A	B	209,800
救急救助体制・救命の連携の強化	応急手当等普及啓発事業	A	A	A	385,740
	救急活動事業	A	D	B	3,515,121
	救助活動事業	A	D	A	487,000

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
消防体制の充実	48	145	61	30	154	28	466
	(53)	(115)	(108)	(120)	(69)	(25)	(490)
	10.3%	31.1%	13.1%	6.4%	33.1%	6.0%	100%
	(10.8%)	(23.5%)	(22.0%)	(24.5%)	(14.1%)	(5.1%)	(100%)
救急救助体制の充実	62	160	52	26	145	21	466
	(52)	(123)	(91)	(59)	(140)	(25)	(490)
	13.3%	34.3%	11.2%	5.6%	31.1%	4.5%	100%
	(10.6%)	(25.1%)	(18.6%)	(12.0%)	(28.6%)	(5.1%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
火災発生件数	件	20	14	17	17
心肺停止状態で救急搬送された傷病者の救命率	%	7.1	17.8	18.0	8.0
救急救命士資格取得者数(累計)	人	15	17	18	15
普通救命講習受講者数(累計)	人	3,500	5,369	5,500	4,100

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	<p>1 消防・救急・救助体制の強化として、火災など発生時に際し、确实、迅速な出動と適切な消防活動を行うため、車両(化学車更新)・資機材などの整備をしました。また救命効果の向上を図るため、救急・救助資機材の充実を図るとともに災害活動における各隊の連携及び隊員の知識・技術の向上を図り、さらには救急隊到着前に町民が適切な処置が出来るよう応急手当等の普及啓発を行いました。目標指標での実績値も平成22年度と比較し上がっていることで成果ありと評価する。</p> <p>2 課題としては、近年、携帯電話の復旧から「早い通報」につながっていると思われるものの、被害を最小限に抑え町民の生命財産を守るためには「早い発見」も必要で、住宅用火災警報器の更なる設置普及啓発は効果が期待できると考えます。また増加傾向にある救急需要に加え、救急業務に対する町民ニーズの多様化などに対する、救急車利用のあり方について、町民に対する周知・啓発活動を強化する必要がある。更には、より安全・确实・迅速な災害活動を実施するため消防職員定数(58名)まで職員を補強し、常備消防体制の強化を図ることが望ましい。</p>
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	3 — 3 — 3	交通安全・防犯対策の充実
-----	-----------	--------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎町民部長 ○福祉部長/教育次長
施策関係課等名	協働文化推進課/町民窓口課/福祉課/学校教育課
シート作成者(主担当である課等の長)	協働文化推進課長
作成補助者(関係課等の長)	町民窓口課長/福祉課長/学校教育課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 安心して暮らせるまちづくりを充実します

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●町内での交通事故が減少している。 ●町内での犯罪が減少している。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●交通事故の撲滅に向けて交通安全運動を推進し、町民等の交通安全意識の高揚を図ります。 ●子どもや高齢者をはじめ、すべての人に配慮した道づくりに努めるとともに、交通安全施設の整備を進めます。 ●犯罪を未然に防止するため、町民の防犯意識の高揚を図り、まちぐるみで防犯対策の充実を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全意識の高揚 ●交通安全施設の整備 ●防犯活動の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額
		妥当性	効率性	有効性	
交通安全意識の高揚	交通安全活動事業	A	A	A	4,078,789
	交通安全施設整備事業	A	A	A	9,343,739
交通安全施設の整備	放置自転車対策事業	A	A	F	4,164,300
	防犯灯整備事業	C	A	E	23,402,189
防犯活動の推進	交番施設整備事業	A	A	F	0
	犯罪被害者等見舞金支給事業	C	A	F	0
	防犯対策推進事業	C	A	E	3,739,583
	防犯対策推進事業(小学校)	C	D	C	287,983
	保護司会活動支援事業	C	A	A	83,700

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
交通安全対策の充実	18	101	104	82	137	24	466
	(21)	(93)	(154)	(171)	(31)	(20)	(490)
	3.9%	21.7%	22.3%	17.6%	29.4%	5.2%	100%
	(4.3%)	(19.0%)	(31.4%)	(34.9%)	(6.3%)	(4.1%)	(100%)
防犯対策の充実	16	95	117	97	119	22	466
	(16)	(81)	(131)	(136)	(107)	(19)	(490)
	3.4%	20.4%	25.1%	20.8%	25.5%	4.7%	100%
	(3.3%)	(16.5%)	(26.7%)	(27.8%)	(21.8%)	(3.9%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
交通事故件数	件	317	208	289	289
刑法犯罪件数	件	549	573	501	501

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>交通安全・防犯対策の充実について、交通安全活動事業、防犯対策推進事業など、9事業を実施し、施策は推進され、ほぼ成果はあがっているが、効果指標の設定に無理があったため、防犯灯整備事業及び防犯対策推進事業については、目標としていた指標を下回った。今後、事業効果指標の見直しが必要である。また、交通安全施設整備事業については、平成25年度より道路反射鏡業務が道路課に移管されたことから、現在は、町内各駅の自転車駐車場に関する業務だけになったため、事業名等の変更が必要になる。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	3 — 3 — 4	地域活動の推進
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	町民部長
施策関係課等名	協働文化推進課
シート作成者(主担当である課等の長)	協働文化推進課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 安心して暮らせるまちづくりを充実します

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●隣近所や地域ごとのつながりが保たれ、地域団体(地縁団体)が活発に活動できている。 ●「地域でできることは地域で」という共助の考え方のもと、地域が自発的に地域課題の解決に向けて取り組んでいる。 ●地域での町民の自発的な活動(ボランティア活動)が活発に行われている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●住み良い地域社会を形成していくため、自治会等の自主的なコミュニティ活動を支援します。 ●地域課題の解決に向け、「地域でできることは地域で」という共助の考え方のもと、地域の力を結集した取り組みを支援します。 ●町民が自発的な活動(ボランティア活動)をしやすい仕組みづくりと活動の充実に向けた支援を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ活動の推進 ●地域別まちづくり懇談会の充実 ●地域コミュニティセンター(機能)の設置 ●ボランティア活動の促進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額
		妥当性	効率性	有効性	
コミュニティ活動の推進	自治会活動支援事業	C	D	C	6,218,390
地域懇談会まちなちの充実	地域別まちづくり懇談会開催事業	C	D	A	0
	地域コミュニティ組織設置促進事業	D	D	E	0
	地域担当職員推進事業	C	D	A	0
地域コミュニティセンター(機能)の設置	集会所管理助成事業	C	A	A	8,285,072
	地域コミュニティセンター機能設置事業	C	E	E	0
ボランティア活動の促進	住民活動支援事業	C	A	B	529,870

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
コミュニティ活動の推進	27	104	108	75	129	23	466
	(20)	(58)	(139)	(135)	(119)	(19)	(490)
	5.8%	22.3%	23.2%	16.1%	27.7%	4.9%	100%
	(4.1%)	(11.8%)	(28.4%)	(27.6%)	(24.3%)	(3.9%)	(100%)
ボランティア活動の促進	17	74	87	61	189	38	466
	(11)	(44)	(112)	(77)	(227)	(19)	(490)
	3.7%	15.9%	18.7%	13.1%	40.6%	8.2%	100%
	(2.2%)	(9.0%)	(22.9%)	(15.7%)	(46.3%)	(3.9%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
自治会加入率	%	77.9	75.3	75.6	79.0
地域集会所の利用回数	回	3,990	3,640	3,861	4,000

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>地域活動の推進に向けて、自治会活動支援、まちづくり懇談会、地域担当職員、地域集会所管理助成、住民活動支援などの様々な事業を実施し、施策は推進され、成果も上がっている。</p> <p>課題とその対応については、自治会活動交付金について、魅力ある自治会にするための活動に対してより一層の支援をしていく必要があるため、交付の基準を見直す。また、地域担当職員については、26年度中に定例会以外の派遣方法を検討する。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	3 — 3 — 5	町民相談の推進
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	町民部長
施策関係課等名	町民窓口課
シート作成者(主担当である課等の長)	町民窓口課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり
登載状況	(節) 安心して暮らせるまちづくりを充実します

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●町民が多様化するニーズに即した相談をすることができている。 ●町民が消費トラブルに遭わずに生活できている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●多様化するニーズに即した対応ができるよう、相談業務の充実を図ります。 ●消費生活に関する情報の提供や、消費生活相談員と連携しながら、適切な指導・助言を行うことにより、健全な消費生活の充実を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●相談活動の充実 ●消費者の保護と自立に向けた支援

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
相談活動の充実	町民相談事業	C	D	A	1,267,120
	自殺対策緊急強化事業	A	D	D	199,910
消費者の保護と自立に向けた支援	消費生活事業	C	A	A	1,718,684

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
町民相談の推進 (H21年度調査時は「消費生活の向上」という項目名称でアンケートを実施)	16	75	83	71	178	43	466
	(11)	(43)	(73)	(67)	(275)	(21)	(490)
	3.4%	16.1%	17.8%	15.2%	38.2%	9.2%	100%
	(2.2%)	(8.8%)	(14.9%)	(13.7%)	(56.1%)	(4.3%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
町民相談件数	件	403	381	400	430
消費生活に関する研修会・講習会の開催数	回	3	4	4	4
消費生活に関する知識・情報等の広報・チラシ等による周知回数	回	3	4	4	4
消費生活相談解決率	%	79.0	92.3	85.0	80.0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 町民相談事業及び消費生活事業においては、施策の目的に沿って遂行されており、町民が安心した生活を送るために役だっていると考えます。 ただし、自殺対策緊急強化事業においては、ゲートキーパー養成研修の回数増により人材育成の機会を増やすなどの対策をしているが、すぐに自殺者数に大きな変化が起きるものではない。
現状・課題	
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	3 — 3 — 6	共に支え合う地域社会の実現
-----	-----------	---------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	町民部長
施策関係課等名	協働文化推進課
シート作成者(主担当である課等の長)	協働文化推進課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 安心して生きがいのあるまちづくり
掲載状況	(節) 安心して暮らせるまちづくりを充実します

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●町民が住み慣れた地域でともに理解し合い支え合っている。 ●町民が平和に対する意識を共有している。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画社会の形成に向けて、男女がそれぞれの人権を尊重し、さまざまな分野で男女が共に参画できる仕組みづくりと意識の高揚を図ります。 ●社会の平和に対する意識の高揚を図ります。 ●人権に関する学習機会の拡充と人権意識の普及・啓発活動を推進し、人権意識の高揚を図ります。 ●外国籍町民が生活するうえで必要な情報やサービスの提供を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画社会の実現 ●平和意識の高揚 ●人権意識の高揚 ●外国籍町民への支援

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
男女共同参画社会の実現	女性行政推進事業	A	D	B	41,500
平和意識の高揚	平和推進事業	A	A	A	11,778
人権意識の高揚	人権啓発事業	A	D	A	252,220
外国籍町民への支援	外国籍町民支援事業	C	D	E	19,280

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
男女共同参画社会の実現	12	61	86	51	216	40	466
	(21)	(63)	(72)	(47)	(261)	(26)	(490)
	2.6%	13.1%	18.5%	10.9%	46.4%	8.6%	100%
	(4.3%)	(12.9%)	(14.7%)	(9.6%)	(53.3%)	(5.3%)	(100%)
平和で平等な社会の実現	21	98	72	42	191	42	466
	(24)	(60)	(72)	(60)	(246)	(28)	(490)
	4.5%	21.0%	15.5%	9.0%	41.0%	9.0%	100%
	(4.9%)	(12.2%)	(14.7%)	(12.2%)	(50.2%)	(5.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
町民アンケート調査における男女共同参画に対する現状評価(十分・やや十分と回答)	%	(H21実績値) 17.2		(H26実績値) 15.7	20.0
町民アンケート調査における平和で平等な社会の実現に対する現状評価(十分・やや十分と回答)	%	(H21実績値) 17.1		(H26実績値) 25.5	20.0
言語通訳利用件数	件	16	4	16	16

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>共に支えあう地域社会の実現のために、女性行政、平和、人権啓発、外国籍町民支援などの事業を通して、施策は推進され、成果はあがっている。</p> <p>課題としては、</p> <p>①「女性行政推進事業」の名称を実際の事業内容と合致させて「男女共同参画推進事業」に変更し、男女共同参画社会実現に向けた意識づくりとともに、地域の女性団体・リーダーを活用した新たな事業の検討を進める。</p> <p>②人権に関する事業担当課を一元化して、事務の効率化を図る。</p> <p>③外国籍町民支援事業において、目標指標が未達成となっており、改善策として、制度を必要とする町民への焦点化したPRなど、効果的な方法を検討・実施して利用者の増を図っていく。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	4 - 1 - 1	生涯学習の推進
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎町民部長 ○教育次長
施策関係課等名	協働文化推進課／教育総務課／町民センター／寒川総合図書館
シート作成者(主担当である課等の長)	協働文化推進課長
作成補助者(関係課等の長)	教育総務課長／町民センター館長／寒川総合図書館館長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章)豊かな心と文化をはぐむまちづくり
掲載状況	(節)ふれあいのある生涯学習を充実します

2. 施策内容

めざす姿	●人々の「学び」と「遊び」が充実し、人と人とのつながりが広がっている。 ●公民館や図書館などの生涯学習施設・設備が整備されている。
基本方針	●町民の多様な学習ニーズに応えるため、学習機会の充実や指導者の育成を図ります。 ●生涯学習の活動拠点として、施設の整備充実を図ります。
施策の方向	●生涯学習体制の充実 ●生涯学習機会の拡充 ●生涯学習施設の整備

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
生涯学習体制の充実・生涯学習機会の拡充	生涯学習振興事業	A	A	B	353,676
	学習団体活動支援事業	C	D	B	400,000
	社会教育振興事業	A	A	A	86,000
	公民館講座開催事業	C	A	C	617,046
	公民館生涯学習推進員事業	A	A	A	134,399
	社会教育委員活動事業	A	A	A	276,360
	総合図書館運営事業	C	A	A	55,030,365

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
生涯学習の推進	21	89	96	48	172	40	466
	(25)	(79)	(95)	(63)	(201)	(27)	(490)
	4.5%	19.1%	20.6%	10.3%	36.9%	8.6%	100%
	(5.1%)	(16.1%)	(19.4%)	(12.9%)	(41.0%)	(5.5%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
町民大学等各種講座参加者数	人	19,614	16,142	18,600	18,600
図書館町内在住者の利用登録率	%	34.9	41.6	42.6	41.5

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>生涯学習の推進については、生涯学習振興事業をはじめ、6事業を実施し、施策は推進され、成果はあがっている。</p> <p>課題としては、</p> <p>①「学びプラン」と「教育振興基本計画」を統合して町の生涯学習を推進する予定であったが、教育委員会制度の見直し等が行われるなど状況が変わってしまったことから、それぞれのプランを検証し、今後のあり方を検討する必要がある。</p> <p>②社会教育関係団体への補助金に依存した事業実施傾向が見られることから、補助金の段階的な見直しを行う。</p> <p>③公民館生涯学習推進員になる人が少ないため、制度のPRを行う。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	4 - 1 - 2	スポーツ・レクリエーション活動の推進
-----	-----------	--------------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎健康子ども部長 ○教育次長
施策関係課等名	健康・スポーツ課／教育総務課
シート作成者(主担当である課等の長)	健康・スポーツ課長
作成補助者(関係課等の長)	教育総務課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章)豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
掲載状況	(節)ふれあいのある生涯学習を充実します

2. 施策内容

めざす姿	●多くの町民がスポーツを通し健やかな体づくりに励み、町中がハツラツとして活気にあふれている。
基本方針	●スポーツ・レクリエーション活動の支援と普及を図ります。 ●町民のスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、施設の充実を図ります。
施策の方向	●スポーツ・レクリエーション体制の充実 ●スポーツ・レクリエーション活動の充実 ●スポーツ・レクリエーション施設の充実

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
スポーツ・レクリエーション体制の充実	スポーツ支援体制強化事業	C	D	B	600,546
スポーツ・レクリエーション活動の充実	スポーツ活動推進事業	C	D	E	2,339,779
エ ー ポ ー ン 充 実 施 設 ク リ	田端スポーツ公園管理棟建設事業	A	D	F	7,591,500
	小学校施設開放事業	C	D	A	632,456
	中学校施設開放事業	C	D	A	1,061,022

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
スポーツ・レクリエーション活動の推進	34	125	78	48	140	41	466
	(35)	(120)	(96)	(61)	(155)	(23)	(490)
	7.3%	26.8%	16.7%	10.3%	30.0%	8.8%	100%
	(7.1%)	(24.5%)	(19.6%)	(12.4%)	(31.6%)	(4.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
スポーツ教室参加者数	人	66	106	250	250
スポーツボランティア登録者数	人	0	0	40	40

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 ・スポーツ教室については、スポーツに取り組むきっかけ作りとしての初心者向けの講習を実施。イベントであるスポーツデイでも、スポーツ推進委員によるニュースポーツや各種のスポーツ団体による体験の場を提供した。 ・町営プールについては、開放間もなく50メートルプールの床隆起により開放を中止することとなり、急遽小学校プールを1校小学生のみに開放したが、幼児への対応ができず、子ども達の期待に答えることができなかった。 ・田端スポーツ公園管理棟建設については、地盤調査の結果地盤改良が必要となり、年度内に建設できなかったため、26年度に予算を繰り越して建設する。 ・学校施設開放については、開放による効果はあがっているが、施設開放用の備品・消耗品等の充実が厳しい状況にある。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	4 — 2 — 1	幼児教育の推進・家庭教育の支援
-----	-----------	-----------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎教育次長 ○健康子ども部長
施策関係課等名	子ども青少年課／教育総務課
シート作成者(主担当である課等の長)	教育総務課長
作成補助者(関係課等の長)	子ども青少年課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり (節) 豊かな心をはぐくむ教育を進めます
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	●家庭・地域と連携し、あたたかい子育てとしっかりした躰のための幼児教育・家庭教育が充実している。
基本方針	●経済的負担を軽減することで、私立幼稚園等への就園を奨励します。 ●家庭教育に関する情報の提供を図り、相談や学習の機会を設けます。
施策の方向	●幼児教育の充実 ●家庭教育の支援

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
幼児教育の充実	私立幼稚園就園奨励費助成事業	C	D	A	64,386,800
家庭教育の支援	親子ふれあい家庭教育推進事業	C	A	A	0

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
幼児教育の推進 ・ 家庭教育の支援	18 (10) 3.9% (2.0%)	52 (44) 11.2% (9.0%)	73 (107) 15.7% (21.8%)	46 (85) 9.9% (17.3%)	232 (220) 49.8% (44.9%)	45 (24) 9.7% (4.9%)	466 (490) 100% (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
親子参加型の公民館等講座参加者数	人	2,345	1,941	2,580	2,580
私立幼稚園等への就園率	%	96.0	97.7	97.7	100.0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	家庭教育講演会やPTA指導者研修会等を実施し、子育て、家庭教育についての学習機会を設けることができました。また、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減したことにより、幼稚園等への就園奨励に繋がりました。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	4 — 2 — 2	学校教育の推進
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	教育次長
施策関係課等名	教育総務課／学校教育課
シート作成者(主担当である課等の長)	学校教育課長
作成補助者(関係課等の長)	教育総務課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章)豊かな心と文化をはぐくむまちづくり (節)豊かな心をはぐくむ教育を進めます
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	●子どもがよく学びよく遊び、学習と生活の両面において意欲的に取り組むことにより、知・徳・体の調和のとれた生きる力が育まれている。
基本方針	●確かな学力を身につける教育を進めます。 ●豊かな情操と道徳心を育成する教育を進めます。 ●積極的に運動に取り組み自ら体力の向上をめざす教育を進めます。
施策の方向	●教育内容の充実 ●教育施設の充実 ●相談・支援体制の充実

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
教育内容の充実	「生きる力」の育成事業(小学校)	A	A	A	879,999
	「生きる力」の育成事業(中学校)	A	A	A	1,719,580
	「地域の先生」ふれあい推進事業(小学校)	C	A	A	719,000
	「地域の先生」ふれあい推進事業(中学校)	C	A	A	800,000
	特別支援教育推進事業(小学校)	C	A	A	6,646,026
	特別支援教育推進事業(中学校)	C	A	E	2,776,192
	学校図書充実事業(小学校)	C	A	A	1,123,531
	学校図書充実事業(中学校)	C	A	C	1,082,426
	教育活動充実事業(小学校)	C	A	A	14,188,206
	教育活動充実事業(中学校)	C	A	A	7,753,035
	少人数学級実施事業	C	A	A	2,405,555
	教職員の研究支援事業	C	A	A	1,734,370
	教職員の資質向上事業	C	A	A	110,000
	英語指導助手活用事業	C	A	B	17,517,463
教育施設の充実	小学校施設改修事業	A	A	D	270,258,450
	中学校施設改修事業	A	A	F	0
	教育コンピュータ活用事業(小学校)	A	A	E	14,125,904
	教育コンピュータ活用事業(中学校)	A	A	C	12,375,487
	給食施設充実事業	A	A	A	3,191,265
	小学校用地購入事業	A	A	F	0
	旧教職員住宅取り壊し事業	A	A	A	16,824,150
相談の・支援体制の充実	教育相談事業	A	D	E	2,125,624
	就学援助等事業(小学校)	A	A	A	22,829,713
	就学援助等事業(中学校)	A	A	A	12,288,598
	奨学金制度推進事業(奨学金基金繰出金)	C	A	C	242,496

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
学校教育の推進	21	83	65	37	215	45	466
	(12)	(57)	(90)	(74)	(234)	(23)	(490)
	4.5% (2.4%)	17.8% (11.6%)	14.0% (18.4%)	7.9% (15.1%)	46.1% (47.8%)	9.7% (4.7%)	100% (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
学校を楽しみと感じる児童・生徒の割合	%	78.0	81.6	85.0	85.0
町基礎力定着度確認問題の正答率	%	65.0	67.0	70.0	70.0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》
現状・課題	<p>明日を担う子どもたちの健やかな育成は重要な課題であり、知・徳・体の各面において調和のとれた成長を図るための教育環境の整備が必要である中、確かな学力の定着に関しては、少人数学習、地域のせんせい、生きる力の育成等の事業の展開により、平成22年時に比べ、向上が見られる。</p> <p>しかしながら、学習指導要領の求める学力は、基礎的基本的な知識・技能の修得はもちろんのこと、それらをベースにした思考力・判断力・表現力等の育成こそを主眼としている。これらの力は、教科書、ノート、黒板といった旧来の教育ツールだけに頼る教育方法のみでは、育成することが難しくなっている。そのため、今後は発達段階に応じたコンピュータ、視聴覚機材等のICT環境を整備していく必要があると考えている。</p>
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	4 — 2 — 3	青少年の育成
-----	-----------	--------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	健康子ども部長
施策関係課等名	子ども青少年課
シート作成者(主担当である課等の長)	子ども青少年課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
掲載状況	(節) 豊かな心をはぐくむ教育を進めます

2. 施策内容

めざす姿	●地域の中で、青少年の健全育成が図られるよう支援が行われている。
基本方針	●社会環境の変化が進む中で、地域での人材を活かし学習活動や体験活動の充実を図ります。 ●青少年がいきいきと遊んだり、活動のできる安心・安全な場の充実を図ります。 ●地域で育った子どもの力を地域の活動に活かします。 ●青少年がいきいきと遊んだり、活動のできる場の充実を図ります。
施策の方向	●青少年育成活動の推進 ●地域教育力の充実

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
活 青 動 少 の 年 推 育 進 成	青少年問題協議会事業	A	A	B	60,000
	青少年育成事業	C	D	E	1,652,858
	成人式開催事業	A	A	A	249,842
	青少年指導員活動事業	C	D	E	1,266,360
地域教育力の充実	ふれあい塾運営事業	C	A	B	1,572,410

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
青少年の育成	13	43	75	62	227	46	466
	(10)	(39)	(99)	(76)	(240)	(26)	(490)
	2.8%	9.2%	16.1%	13.3%	48.7%	9.9%	100%
	(2.0%)	(8.0%)	(20.2%)	(15.5%)	(49.0%)	(5.3%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
ジュニアリーダーズクラブ会員数	人	33	20	21	36
ふれあい塾登録率	%	67.1	61	65	80.0

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている
	<input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)
現状・課題	<input checked="" type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない
	<input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
今後の取り組み	《上記評価に至る分析や判断理由》 青少年の健全育成については、地域での協力を得ながら事業を実施して行くことが重要であり、成果を上げるには時間を要するものとする。
	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 多くの参加を得られることが出来る事業を検討していく。また、関係団体が活発な活動を進めていくことが出来るよう支援する。

施策名	4 — 3 — 1	地域文化の振興
-----	-----------	---------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎教育次長 ○総務部長/町民部長
施策関係課等名	総務課(文書館)/協働文化推進課/教育総務課/町民センター
シート作成者(主担当である課等の長)	教育総務課長
作成補助者(関係課等の長)	総務課長/協働文化推進課長/町民センター館長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章)豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
掲載状況	(節)地域の文化活動を進めます

2. 施策内容

めざす姿	●町民が積極的に地域の文化・芸術活動に参加し、親しんでいる。
基本方針	●町の歴史や文化等を次世代に引き継いでいくために、町民の意識の高揚を図るとともに、文化財を保護・継承します。 ●町民が自主的に文化活動に参加できる機会を拡充し、芸術・文化への意識の高揚を図ります。
施策の方向	●文化財の保護・継承 ●文化活動の充実 ●歴史資料の保存・公開の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
文化財の保護・継承	文化財保護委員会事業	A	A	A	45,000
	文化財保護事業	C	A	B	377,290
	埋蔵文化財保護事業	A	A	B	2,307,367
	文化財学習センター事業	C	A	B	1,163,697
文化活動の充実	地域文化振興事業	C	A	A	798,000
	文化振興事業	C	A	A	554,674
	公民館まつり開催事業	C	A	C	300,000
歴史資料の保存・公開の推進	町史刊行事業	C	A	A	460,339
	資料保存活用事業	C	A	A	934,712
	文書館運営事業	C	A	C	4,500,834

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
地域文化の振興	20	80	84	68	174	40	466
	(38)	(110)	(73)	(51)	(200)	(18)	(490)
	4.3%	17.2%	18.0%	14.6%	37.3%	8.6%	100%
	(7.8%)	(22.4%)	(14.9%)	(10.4%)	(40.8%)	(3.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
文化財学習センター来館者数	人	646	1,078	1,100	710
公民館まつり参加者数	人	3,000	2,000	3,500	3,300

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>事業効果指標の80%を達成していない事業も一部あるが、大雪で中止になったこと等による明確な理由があり、効果は出ています。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	4 — 3 — 2	地域間交流の推進
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	町民部長
施策関係課等名	協働文化推進課
シート作成者(主担当である課等の長)	協働文化推進課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章) 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり (節) 地域の文化活動を進めます
----------------	---

2. 施策内容

めざす姿	●町民が本町以外の住民や外国人と交流している。
基本方針	●姉妹都市との交流事業として、民間レベルでの交流の促進を図ります。 ●国際化が進む中で、国際交流活動を促進します。
施策の方向	●多様な交流機会の提供

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
多様な交流機会の提供	地域間交流促進事業	C	A	B	153,460

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
地域間交流の推進	11	35	62	72	255	31	466
	(21)	(84)	(48)	(28)	(287)	(22)	(490)
	2.4%	7.5%	13.3%	15.5%	54.7%	6.7%	100%
	(4.3%)	(17.1%)	(9.8%)	(5.7%)	(58.6%)	(4.5%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
広報紙への地域間交流情報提供回数	回	5	6	6	7
行政が関与した姉妹都市との交流事業数	回	5	3	3	6

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 国際交流や姉妹都市交流の関係団体への支援を通して、施策は推進され成果もあがっている。
現状・課題	
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 平成3年度より積立を続けている国際交流基金について、当初の設置目的に沿った活用を検討し、青少年を対象とした国際交流事業、町民の国際親善、交流活動の支援事業等の原資とできるよう関係団体等との調整を進める。

施策名	5 — 1 — 1	商業の振興
-----	-----------	-------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	産業振興課
シート作成者(主担当である課等の長)	産業振興課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画	(章) 魅力ある産業と活力あるまちづくり
掲載状況	(節) まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●町内外からの買い物客でにぎわっている。 ●商業基盤が整備されている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●消費者のニーズに対応した魅力ある商業の振興を図るため、地域の特性を生かした商業環境の整備を図ります。 ●寒川駅周辺は、中心市街地として商業の活性化を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●商業活性化の推進 ●中心市街地活性化の推進 ●商業環境の整備

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
商業活性化の推進	産業まつり開催事業	C	D	A	1,800,000
	商工会補助事業	C	D	B	13,258,100
	小口短期融資資金貸付事業	C	D	C	3,000,000
	商業関係表彰事業	C	D	A	2,588
	住宅リフォーム等建築工事推進助成事業	C	A	B	1,720,000
	産業支援プログラム推進事業(商業)	C	A	F	0
商業環境の整備	商店街活性化事業	C	D	B	5,705,000

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
商業の振興	22	78	111	199	26	30	466
	(8)	(43)	(119)	(182)	(115)	(23)	(490)
	4.7%	16.7%	23.8%	42.7%	5.6%	6.4%	100%
	(1.6%)	(8.8%)	(24.3%)	(37.1%)	(23.5%)	(4.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
小売業年間商品販売額	億円	(H19実績値) 297		(H24実績値) 218	(H23実績値) 297
小売業売場面積	百㎡	(H19実績値) 272		(H24実績値) 230	(H23実績値) 276
寒川らしさを感じる特産品数	品目	24	23	23	25

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>寒川駅北口商店会、寒川町商工会、寒川町観光協会、寒川町からなる寒川駅北口地区商業活性化委員会を立ち上げ、個店を知っていただくためのさまざまなイベントを企画し、中心市街地の活性化を図っている。このような活動を進めることで、北口地区への出店を促し、さらなるにぎわい創出に繋げられるように新たな事業の検討をすすめている。</p> <p>また、平成25年度の住宅リフォームの助成においては、助成金の町外への流出を防止するため、町内140店で使用できる共通商品券を172万円分交付し、町内での消費を促進するとともに、その外3,440万円分の経済波及効果を得られた。</p> <p>「産業まつり」や「びっちょり祭」においても個店をPRできるような環境をととのえることで、強い商業者の育成に取り組んでいる。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	5 — 1 — 2	工業の振興
-----	-----------	-------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	産業振興課
シート作成者(主担当である課等の長)	産業振興課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画	(章) 魅力ある産業と活力あるまちづくり
掲載状況	(節) まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●企業経営しやすい基盤整備が進み、町内に新たな企業が創出されている。 ●町内の中小企業の経営が安定している。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●地域環境に配慮した企業や研究開発型の企業誘致を図り、新たな産業集積を図ります。 ●近隣市との広域連携及び「産・学・官」の連携を進めます。 ●中小企業の経営安定化に向け、中小企業支援策の充実を図ります。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●工業環境の整備 ●中小企業の育成

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
工業環境の整備	企業等立地促進事業	A	A	C	4,500,227
	ISO認証取得促進事業	C	D	D	170,000
	産学官連携推進事業	C	A	F	0
中小企業の育成	中小企業融資事業	C	D	C	36,557,400
	中小企業信用保証料補助事業	C	D	C	266,000
	起業家育成事業	C	A	C	106,189
	産業支援プログラム推進事業(工業)	C	A	A	(5-1-1「商業の振興」からの再掲)

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
工業の振興	10	48	88	76	210	34	466
	(7)	(39)	(65)	(66)	(291)	(22)	(490)
	2.2%	10.3%	18.9%	16.3%	45.1%	7.3%	100%
	(1.4%)	(8.0%)	(13.3%)	(13.5%)	(59.4%)	(4.5%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
製造品出荷額等	億円	(H21実績値) 3,221	(H24実績値) 3,321	3,350	3,221
企業立地条例による立地企業数(累計)	所	(H21実績値) 6	7	7	9
中小事業所現金給与総額(4~299人)	億円	(H21実績値) 230	196	200	230

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input checked="" type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
現状・課題	《上記評価に至る分析や判断理由》 平成26年度末に予定されている「さがみ縦貫道路」の全線開通を控えている中で、町内にある2箇所のIC周辺を中心に、工業地としての魅力や優位性を町内外に発信し、優良企業誘致等の取り組みをすすめる必要があるが、現状では産業集積を予定する地域への企業誘致を展開できる状況に至っていないため、既存企業に対する事業資金や設備投資等への支援を中心とする事業を行っている。 また、企業訪問の成果として構築したメーリングリストを活用し、国や県の支援制度などの時機に合った情報を企業に提供するとともに、藤沢市、茅ヶ崎市との広域連携や地元大学や関係団体との連携した企業支援を行っている。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 ISO認証取得促進事業については、企業ニーズを把握するとともに必要であれば、エコアクションやエコステージの取得にも補助対象を広げることで、企業の取引拡大を支援していきたい。また国のセーフティーネットの動向に左右されている融資事業や信用保証料補助事業については、近隣市町とも連携して国の動向を把握し、国の制度の対象から外れてしまった企業を救えるように適切な準備をしておく。 また、産業集積を予定する地域の進捗状況を見ながら、神奈川県とも連携し、周辺地域への進出を検討する企業の情報収集を行い、企業誘致の準備を進める。

施策名	5 — 1 — 3	農業の振興
-----	-----------	-------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	産業振興課
シート作成者(主担当である課等の長)	産業振興課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画 掲載状況	(章) 魅力ある産業と活力あるまちづくり (節) まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●農業生産ができる基盤が整備されている。 ●新たな担い手の確保と農地の有効活用がされている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●農業生産基盤の整備を進めます。 ●都市型農業の地域性を生かした経営の安定化と農業の振興を図ります。 ●農業に対する理解を促進します。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●農業生産基盤の整備 ●農業経営対策の推進 ●ふれあい農業の推進

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
農業生産基盤の整備	土地改良施設整備事業	A	A	C	13,672,910
農業経営対策の推進	農業経営基盤促進事業	A	A	F	1,540
	生産組合活動事業	A	A	A	728,649
	農業振興地域整備推進事業	A	A	C	852,600
	遊休農地活用事業	C	A	A	6,340
	農業振興対策事業	C	A	B	1,955,304
	農業援助育成対策事業	A	A	F	491,595
	畜産振興対策事業	A	A	A	650,773
ふれあい農業の推進	家庭菜園事業	C	A	A	56,950

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
農業の振興	17	74	73	75	197	30	466
	(11)	(76)	(73)	(67)	(242)	(21)	(490)
	3.7%	15.9%	15.7%	16.1%	42.3%	6.4%	100%
	(2.2%)	(15.5%)	(14.9%)	(13.7%)	(49.4%)	(4.3%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
農業基盤整備受益面積(累計)	ha	(H23実績値) 60.8	61.9	62.7	63.0
新規就農者数(累計)	人	0	1	1	2
農産物直売施設数	箇所	25	26	27	29

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>農業基盤整備については、町の財政状況との兼ね合いもあるものの、農業生産に直結するものであるため、受益面積の増加は農業施策の成果として評価できる。 農業者の高齢化や新たな担い手の不足という課題がある中で、2市1町広域連携において協定を締結した新規就農受入支援を有効に活用し、新規就農まで結びつけることができたことは大きな成果である。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	5 — 1 — 4	勤労者対策の充実
-----	-----------	----------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	産業振興課
シート作成者(主担当である課等の長)	産業振興課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画	(章) 魅力ある産業と活力あるまちづくり
掲載状況	(節) まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で安定した雇用が創出されている。 ●勤労者の生活が安定している。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●就労するためのスキルアップなどの支援や就労機会の提供を図ります。 ●勤労者の福利厚生を充実します。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●就労機会の提供 ●勤労者福利厚生の充実

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
就労機会の提供	就労対策事業	C	A	B	65,000
	技能者表彰事業	C	A	A	65,000
勤労者福利厚生の充実	勤労者住宅資金利子補助事業	C	A	E	12,229
	勤労者福利資金預託事業	C	A	B	50,000,000
	退職金共済掛金補助事業	C	A	C	171,250
	勤労者教育資金利子補助事業	C	D	C	185,200

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
勤労者対策の充実	6	47	92	125	164	32	466
	(10)	(34)	(105)	(118)	(200)	(23)	(490)
	1.3%	10.1%	19.7%	26.8%	35.2%	6.9%	100%
	(2.0%)	(6.9%)	(21.4%)	(24.1%)	(40.8%)	(4.7%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
労働講座等への参加人数	人	24	54	55	30
就職面接会の開催	回	1	1	1	1

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input checked="" type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
現状・課題	《上記評価に至る分析や判断理由》 ハローワーク、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の広域事業として、湘南就職面接会を開催した。また、若者サポートステーションとの連携によるパソコン講座を開催した。しかしながら、広報やホームページなどさまざまな媒体を活用して求職者への案内を試みたが、寒川町在住者の参加率が低く、就労に結びついていない。勤労者の持家促進と生活の安定向上を図るため、住宅資金利子補助を実施していたが、それにかわる新たな制度が必要となっている。 また、勤労者が求める支援策を検討すると子育て支援など勤労者が快適に暮らせる町づくりに行き着いてしまい、勤労者に限定することの難しさがある。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 寒川町在住者で町内企業へ勤めている方への福利厚生的な支援と、住宅取得による勤労者の持家促進を図るために、平成26年度より、個人住宅取得奨励事業をスタートする。 また、就労支援の充実を図るため、湘南就職面接会の課題について考察するとともに、若者サポートステーションとの連携や企業と高校との情報交換会を広域で実施する。 さらに、労働講座など勤労者が集まる場で勤労者のニーズを把握していく。

施策名	5 — 1 — 5	観光の振興
-----	-----------	-------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	産業振興課
シート作成者(主担当である課等の長)	産業振興課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画	(章) 魅力ある産業と活力あるまちづくり
掲載状況	(節) まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 町外からの観光客でにぎわっている。 ● 長時間楽しめる観光導線が整備されている。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 町の観光資源を生かした魅力ある観光の発掘や充実を図ります。 ● 産業と連携した観光を創出します。 ● 町民や観光客にとって魅力的な観光まちづくりを進めます。
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光資源の創出 ● 観光推進体制・施設の整備

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
観光資源の創出	観光振興事業	C	D	A	0
観光推進体制・施設の整備	観光協会補助事業	C	D	A	7,689,713
	観光宣伝事業	C	D	A	514,500

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
観光の振興	7	27	91	242	71	28	466
	(9)	(45)	(87)	(152)	(176)	(21)	(490)
	1.5%	5.8%	19.5%	51.9%	15.2%	6.0%	100%
	(1.8%)	(9.2%)	(17.8%)	(31.0%)	(35.9%)	(4.3%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
日帰り観光客数	万人	185.5	186	187	210
観光導線の核となる観光資源数	箇所	47	61	61	51

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
	《上記評価に至る分析や判断理由》 町外から人を呼び込みことができる「寒川みんなの花火」や「さむかわ神輿まつり」「寒川びつちより祭」など新たなイベントが開催されている。寒川のすばらしいところを知ってもらうには、一度は来てもらうことが大事であり、そのきっかけとなるイベントに対して、支援をしている。 商業振興、食による町おこしとして取り組んでいる「さむかわ棒コロ」の応援団長「コロ坊」も県内の観光キャンペーンなどに参加したり、観光ガイドマップに特産品を掲載するなど、商業と連携した観光に取り組んでいる。さらには、農産物直売所マップの更新や、花きなどの農産物をマスメディアに対してPRするなど、農業との連携にも取り組んでいる。 また、観光協会との役割分担を明確にすることで、効率的な観光振興を図る必要がある。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》

施策名	0 - 0 - 1	町民との協働によるまちづくりの推進
-----	-----------	-------------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎町民部長 ○企画政策部長/総務部長/議会事務局長
施策関係課等名	企画政策課/総務課/協働文化推進課/町民窓口課/議会事務局
シート作成者(主担当である課等の長)	協働文化推進課長
作成補助者(関係課等の長)	企画政策課長/総務課長/町民窓口課長/議会事務局次長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章)基本姿勢 (節)基本姿勢
----------------	--------------------

2. 施策内容

基本姿勢の項目	①地域主体のまちづくりの推進 ②町民参画の推進 ③情報の共有・広聴機能の充実
基本方針	①町民とまちがめざす自治の基本理念に基づき、それぞれの責任を果たしながら、相互に補完し、協力しあってまちづくりを進めます。 ②より一層町民に開かれた、町民参加型の町政運営を行います。 ③幅広い行政情報の提供と広聴の充実を図ります。
基本的な方向性	①自治基本条例の定着をめざすとともに、条例に基づき行政の透明性を高めます。 ②各種審議会や委員会への参加や傍聴の機会、行政と町民との対話の機会を充実し、町民の参画を促します。 ③◇個人情報の適切な取り扱いのもと、情報公開を適正に進めるとともに、行政の持つさまざまな情報の共有化を図ります。 ◇インターネットなどさまざまなツールの活用による町民の意見や提案をまちづくりに反映するための広聴機能を充実します。

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

基本姿勢の項目	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額
		妥当性	効率性	有効性	
地域主体のまちづくりの推進	自治基本条例推進事業	A	D	C	289,030
町民参画の推進	地域別まちづくり懇談会開催事業	C	D	A	(3-3-4「地域活動の推進」からの再掲)
情報の共有・広聴機能の充実	情報公開事業	A	A	B	52,060
	広報さむかわ等発行事業	C	A	A	12,313,019
	広聴活動事業	A	D	B	235,105
	広報活動事業	A	A	A	1,740,930
	議会公開事業	A	D	A	5,866,434

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
町民との協働によるまちづくりの推進	8 1.7%	42 9.0%	97 20.8%	91 19.5%	195 41.9%	33 7.1%	466 100%
(H21年度調査時は、次の2項目にてアンケートを実施)							
(町民参加の推進)	(15) (3.1%)	(69) (14.1%)	(111) (22.7%)	(126) (25.7%)	(147) (30.0%)	(22) (4.5%)	(490) (100%)
(情報提供・公開の推進)	(9) (1.8%)	(78) (15.9%)	(106) (21.6%)	(95) (19.4%)	(180) (36.7%)	(22) (4.5%)	(490) (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
—					

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>町民と協働によるまちづくりの推進について、自治基本条例推進事業をはじめ、7事業を実施し、施策は推進され成果はあがっている。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	0 — 0 — 2	広域行政によるまちづくり
-----	-----------	--------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	企画政策部長
施策関係課等名	企画政策課
シート作成者(主担当である課等の長)	企画政策課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年4月17日

後期基本計画 掲載状況	(章) 基本姿勢 (節) 基本姿勢
----------------	----------------------

2. 施策内容

基本姿勢の項目	①広域連携による町民サービスの向上 ②地域活性化と広域的なまちづくりの推進 ③行政の効率化の推進
基本方針	①住民サービスの向上に向けて、広域連携を進めます。 ②広域的な行政課題の解決に向けて、広域連携を進めます。 ③行政の効率化の推進に向けて、広域連携を進めます。
基本的な方向性	①町民が身近な窓口で総合的な行政サービスを利用できるようにするため、広域連携を活用し、県からの権限移譲の受け入れを進めます。 ②◇周辺自治体との連携をさらに強化し、共通課題などの事業の効率化を図ります。 ◇新幹線新駅誘致やツインシティなどの広域連携拠点について、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会など、県や周辺自治体と連携し、事業の推進を図ります。 ③定型的で裁量の余地が小さく、スケールメリットによる効率化が望める事務事業や専門性の向上につながる事務事業について、広域連携による取り組みを進め、行政の効率化を図ります。

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

基本姿勢の項目	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
①～③	広域行政推進事業	C	A	C	617,648

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目〔()内はH21年度調査時〕						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
広域行政によるまちづくり	7	51	88	82	207	31	466
	(11)	(79)	(88)	(60)	(233)	(19)	(490)
	1.5%	10.9%	18.9%	17.6%	44.4%	6.7%	100%
	(2.2%)	(16.1%)	(18.0%)	(12.2%)	(47.6%)	(3.9%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
—					

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>現在、広域行政については、2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)で構成する湘南広域都市行政協議会、茅ヶ崎市との1市1町で行っている茅ヶ崎市・寒川町広域連携検討会議、海老名市との間で事務レベルで検討を進めている広域連携など、寒川町が抱える課題解決に向けて様々な形態による広域行政を進めている。</p> <p>その中でも湘南広域都市行政協議会については、県から権限移譲を受け圏域での旅券発給業務や、藤沢医師会等との協議により看護師不足解消に向けた湘南看護専門学校への支援などを行っているところであり、今後とも2市1町のスケールメリットを活かした施策を推進し、効率的かつ効果的な広域行政を進めていく。</p> <p>また、平成25年度には、茅ヶ崎市との間で広域連携推進計画書を策定したところであるが、茅ヶ崎市と寒川町は、住民の通勤・通学、経済活動など同一の圏域としてまとまっているため、結びつきが強く、これまでも官民間わず様々な広域連携・交流が行われてきたところである。今後とも同一圏域でのスピード感を持った課題解決に向け、推進計画書に基づいた施策の推進が必要である。</p> <p>さらには、海老名市との連携として、さがみ縦貫道路の全線開通を目前に、都市基盤整備や公共交通整備など連携が必要な課題を抱えていることから、現在事務レベルで検討進めている状況である。今後については、更なる広域連携を見据え、新たな形による連携を模索する必要がある。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>

施策名	0 — 0 — 3	地方分権の推進と自律的な行財政運営
-----	-----------	-------------------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	◎企画政策部長 ○総務部長
施策関係課等名	企画政策課／財政課／総務課
シート作成者(主担当である課等の長)	企画政策課長
作成補助者(関係課等の長)	財政課長／総務課長
作成年月日	平成26年6月13日

後期基本計画 掲載状況	(章)基本姿勢 (節)基本姿勢
----------------	--------------------

2. 施策内容

基本姿勢の項目	①地方分権の推進 ②行政改革の推進 ③計画的・効率的な財政運営の推進
基本方針	①町独自の創意工夫などにより、地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。 ②社会環境変化に柔軟に対応できる組織の見直しや事務の効率化を図り、行政改革を進めます。 ③計画的・効率的な財政運営を進めます。
基本的な方向性	①地方分権の推進による事務の権限移譲や規制緩和に対し適確に対応します。 ②◇町民ニーズに対応した行政サービスを提供できる組織の見直しや事務の効率化を図り、行政改革を進めます。 ◇職員研修を充実するとともに、職員配置の適正化を図ります。 ◇限りある財源を効率的、効果的に活用を図るため、事業評価等を通じて、事務事業の見直しを図ります。 ③◇実施事業の優先順位を付しながら、新規事業を行う際には事業効果を測るとともに、事業のスクラップアンドビルドにより、効率的に事業を進めます。 ◇健全財政をめざすとともに、町民にわかりやすく財政状況を公表します。

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

基本姿勢の項目	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
①	地方分権推進事業	A	A	A	0
②	行政組織見直し事業	A	A	A	0
	人事管理適正化事業	A	A	A	0
	職員研修事業	A	A	A	1,355,097
	行政評価実施事業	A	A	A	38,000
③	総合計画推進事業	A	A	F	155,000
	コンピュータ利用事業	C	A	A	89,755,717

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [()内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
地方分権の推進と 自律的な行財政運営	10 2.2%	34 7.3%	99 21.2%	97 20.8%	189 40.6%	37 7.9%	466 100%
(H21年度調査時は、次の3項目にてアンケートを実施)							
(地方分権の推進)	(6) (1.2%)	(61) (12.4%)	(102) (20.8%)	(117) (23.9%)	(184) (37.6%)	(20) (4.1%)	(490) (100%)
(行政改革の推進)	(10) (2.0%)	(73) (14.9%)	(107) (21.8%)	(101) (20.6%)	(179) (36.5%)	(20) (4.1%)	(490) (100%)
(計画的・効率的な行財政運営の推進)	(10) (2.0%)	(81) (16.5%)	(110) (22.4%)	(114) (23.3%)	(151) (30.8%)	(24) (4.9%)	(490) (100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
—					

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<p>■ A: 施策は推進され、成果はあがっている</p> <p>□ B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。)</p> <p>□ C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない</p> <p>□ D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない</p>
現状・課題	<p>《上記評価に至る分析や判断理由》</p> <p>地方分権の推進については、法的に移譲されるもの以外として、広域行政によりパスポートセンターの共同設置など進んでいる。今後についても、町にとって有益となる事務については権限移譲を進めていく。</p> <p>また、効率的かつ効果的な行政運営を図るため、行政改革実施計画の推進を図り、外郭団体の補助の見直しや指定管理者制度の導入、外部評価の実施など事務事業の見直しを進め、徴収金収納率の向上や医療費の負担軽減など財源の確保と経費の縮減や人事評価の実施などに努めるとともに、住民協働の観点についても目標を掲げ推進してきたところであり、取り組みについては一定の成果があった。</p> <p>このような取り組みを進めつつ、計画的・効率的な財政運営を図るため、平成24年度スタートした後期基本計画の策定にあたり各事業の積み上げを行い財政計画を策定したところであるが、こうした財政計画に基づき予算編成・事業推進を行っている。こうした財政的裏付けを持ちながら施策を推進する必要があるため、本年度から施策評価シートの導入を図ったところである。今後についても、こうした改善を行いながら、研修を通じて職員の資質向上などを図り、魅力のあるまちづくりを進めていく。</p>
今後の取り組み	<p>《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》</p>